

# TASCAM

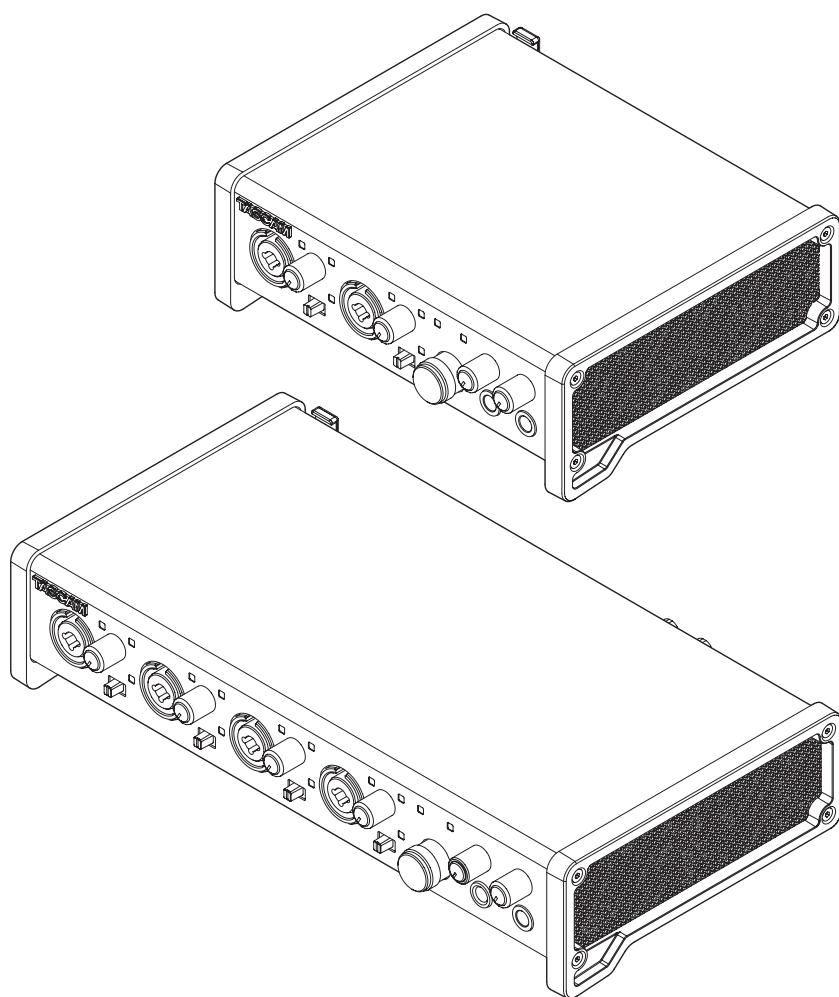
D01355501A

# SERIES 102i

# SERIES 208i

## AUDIO INTERFACE

リファレンスマニュアル



本機をパソコンに接続する前に、専用ドライバーをダウンロードし、パソコンにインストールしておく必要があります。

# 目次

第1章 はじめに.....	3	第8章 MIDIインプリメンテーションチャート.....	30
本機の概要 .....	3	第9章 トラブルシューティング.....	31
本書の表記 .....	3	第10章 仕様 .....	33
商標および著作権に関して .....	3	定格.....	33
第2章 各部の名称と働き .....	4	入出力定格 .....	33
フロントパネル .....	4	アナログオーディオ入力定格 .....	33
リアパネル .....	5	アナログオーディオ出力定格 .....	33
第3章 インストール.....	6	デジタルオーディオ入力定格 .....	33
必要なシステム .....	6	コントロール入出力定格.....	33
Windows の必要なシステム .....	6	オーディオ特性 .....	34
Mac の必要なシステム .....	6	動作条件 .....	34
iOS デバイスの必要なシステム.....	6	Windows.....	34
対応オーディオドライバー .....	6	Mac.....	34
専用ソフトウェアをインストールする.....	7	iOSデバイス.....	34
Windows 専用ソフトウェアのインストール .....	7	対応オーディオドライバー .....	34
Mac 専用ソフトウェアのインストール.....	8	一般.....	35
Gatekeeperについて .....	8	寸法図.....	36
専用ソフトウェアのアンインストール.....	9	ブロックダイアグラム.....	37
Windows 専用ソフトウェアのアンインストール.....	9		
Mac 専用ソフトウェアのアンインストール.....	9		
第4章 準備 .....	10		
電源を接続する .....	10		
コンセントプラグの交換方法 .....	10		
外部機器を接続する.....	11		
パソコンの接続 .....	11		
iOSデバイスとの接続 .....	11		
オーディオの接続 .....	11		
MIDIの接続.....	12		
第5章 Settings Panelの設定.....	13		
Settings Panelを開く .....	13		
Windows.....	13		
Mac.....	13		
Settings Panelについて .....	13		
MIXER 画面 .....	13		
LINK ボタンの詳細 .....	19		
INFORMATION 画面 .....	20		
ROUTING 画面 .....	21		
Monitor Control 画面 (SERIES 208i のみ).....	22		
Settings PanelのViewメニューの操作 .....	22		
Settings Panelの設定の初期化 .....	23		
リバーブ設定の初期化.....	23		
Settings Panelの設定の保存 .....	24		
Settings Panelの設定の保存 .....	24		
Settings Panelの設定を呼び出す .....	25		
シーンメモリー名を変更する .....	25		
全てのシーンメモリーを初期化する.....	26		
Settings Panelの設定を本体に保存する .....	26		
最新情報のお知らせ機能.....	27		
ソフトウェア・ファームウェアの自動更新機能 .....	27		
第6章 アプリケーションガイド.....	28		
DAWソフトウェア .....	28		
バンドルDAWソフトウェア .....	28		
その他のDAWソフトウェア .....	28		
Windows Media Player.....	28		
macOS と iTunes.....	28		
iOS .....	28		
第7章 スタンドアローンモード.....	29		
概要 .....	29		
スタンドアローンモード動作時の各設定 .....	29		
各種設定 .....	29		

## 本機の概要

- EIN-129dBuを達成したUltra-HDDA (High Definition Discrete Architecture) マイクプリアンプを搭載
- Ultra-HDDAマイクプリアンプを装備 (SERIES 102i : 2基、SERIES 208i : 4基)
- XLRマイク入力 (バランス) および標準ジャック入力 (バランス/アンバランス) を複数装備
- 最大24bit/192kHzフォーマットのハイレゾ録音に対応
- Windows および Mac に対応
- USB端子 (USB-Bタイプ、USB2.0規格) を装備
- iPadなどのiOSデバイス接続に対応
- +48Vファントム電源の供給が入力チャンネルごとに可能
- ギター/ベースの直接入力に対応
- ダイレクトモニター機能により遅延の無いモニターが可能
- ダイナミックマイクの入力に対応した57dBの広さを誇る入力レベル仕様
- ハードな使用にも耐える堅牢なメタルジャケット
- デスクトップでの優れた操作性を提供するアングルドデザイン
- 2系統の標準ジャックヘッドホン出力端子
- モニター出力とヘッドホン出力の音量を個別にコントロール可能
- MIDIキーボードなどの接続ができるMIDI入出力端子
- DSPミキサー経由での低レイテンシーモニタリング
- 各入力チャンネルに4バンドEQ / コンプレッサーを装備したDSPミキサー
- 入出力を自由にアサインできるルーティング機能
- DSPミキサーの設定を記憶できるシーンメモリー (最大10シーン、名称変更可能)
- TRSアナログ出力端子を装備 (SERIES 102i : 2系統、SERIES 208i : 8系統)
- TOSLINK 光デジタルマルチチャンネル入力端子 (S/MUX2 / S/MUX4対応)
- BNC WORDCLOCK 入出力端子 (終端オン/オフ付き、SERIES 208i のみ)
- USB Audio Class 2.0に対応
- 主要DAWソフトウェアとの動作検証済み (Cubase、SONAR、Pro Tools、Live、Studio One、Garage Band)
- ACアダプター付属 (PS-P1220E、変換プラグ3種類)
- DAWソフトウェア、プラグインFxをバンドル

## パソコン操作に関して

本書の説明に出てくるパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。本機を使用するには、パソコンに専用ソフトウェアをインストールする必要があります。

ソフトウェアのインストールについては、7ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機のスイッチ/端子などを「**PHONESつまみ**」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を「OK」のように表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

### ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

### 注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

### ⚠注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

## 商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPad、Lightning、App Store および iTunes は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- IOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。

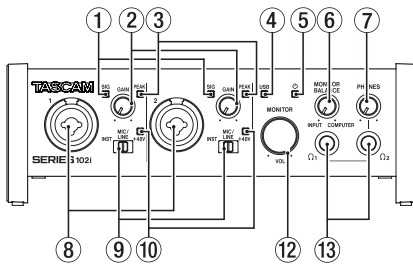


- Blackfin® and the Blackfin logo are registered trademarks of Analog Devices, Inc.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## 第2章 各部の名称と働き

### フロントパネル

#### SERIES 102i



#### ① SIGインジケーター

信号が入力されているとき（-32dBFS以上）に緑色に点灯します。

#### ② GAINつまみ

入力端子からの入力レベルを調節します。

#### ③ PEAKインジケーター

入力信号が歪む直前（-1dBFS以上）から赤く点灯します。  
PEAKインジケーターが点灯しないように調節してください。

#### ④ USBインジケーター

インジケーターが点灯／点滅／消灯し、本機の状態を表示します。

点灯状態	内容
点灯	USB接続が正常
点滅	USB接続に異常がある（未接続、エラー発生）
消灯	スタンドアローンモードで動作

#### ⑤ ① インジケーター

リアパネルの**STANDBY**スイッチ（⑰）がオンのとき、インジケーターが点灯します。  
クロックソースまたはOPTICAL入力が不定のとき、インジケーターが点滅します（クロックソースをOPTICAL選択時）。

#### ⑥ MONITOR BALANCEつまみ

本機の入力端子からの信号とパソコンからの出力信号のバランスを調節します。

**MONITOR BALANCE**つまみを左側（**INPUT**）に回すと本機の入力端子からの信号が大きくなり、右側（**COMPUTER**）に回すとパソコンからの信号が大きくなります。

このつまみは、モニターバランス音量を調節するためのつまみですので、録音レベルには影響しません。

入力端子からの信号をモニターすることにより、遅延のない入力モニター（ダイレクトモニター機能）が可能です。

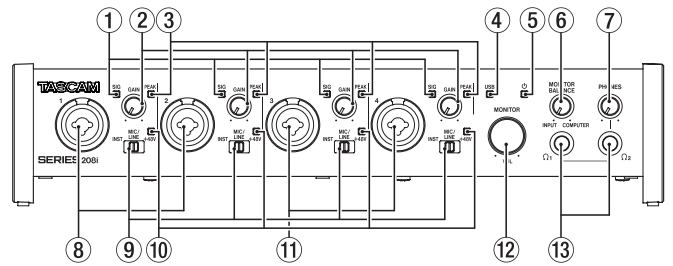
#### ⑦ PHONESつまみ

**PHONES** Ω<sub>1</sub> 端子および**PHONES** Ω<sub>2</sub> 端子の出力レベルを調節します。

#### △ 注意

ヘッドホンを接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

#### SERIES 208i



#### ⑧ 1-2入力端子

XLR / TRSコンボジャックタイプのアナログ入力端子です。ハイインピーダンス入力（ギターなどの直接入力）にも対応しています。

TRSジャックは、入力切り換えスイッチ（⑨）により、バランスライン入力（MIC/LINE時）とアンバランス入力（INST時）の切り換えが可能です。

ギターやベースなどの楽器を直接接続する場合は、入力切り換えスイッチ（⑨）を「INST」にします。

#### ⑨ 入力切り換えスイッチ

各入力端子の入カソースに応じて設定します。

**INST**：ギター、ベース等のハイインピーダンス楽器を直接接続する際に選択します。ハイインピーダンス受けのアンバランス入力になります。

**MIC/LINE**：バランス出力のマイクやラインレベル出力機器を接続する場合に選択します。

**+48V**：1-2 入力端子および 3-4 入力端子のXLR端子に+48Vのファントム電源を供給します。

#### ⑩ +48Vインジケーター

入力切り換えスイッチ（⑨）が「+48V」のときにインジケーターが点灯します。

#### ⑪ 3-4入力端子（SERIES 208i のみ）

XLR / TRSコンボジャックタイプのアナログ入力端子です。ハイインピーダンス入力（ギターなどの直接入力）にも対応しています。

TRSジャックは、入力切り換えスイッチ（⑨）により、バランスライン入力（MIC/LINE時）とアンバランス入力（INST時）の切り換えが可能です。

ギターやベースなどの楽器を直接接続する場合は、入力切り換えスイッチ（⑨）を「INST」にします。

#### ⑫ MONITORつまみ

リアパネルの**LINE OUT (BALANCED)** 1-2 端子（⑳）の出力レベルを調節します。

#### ⑬ PHONES Ω<sub>1</sub> / Ω<sub>2</sub> 端子

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。

リアパネルの**LINE OUT (BALANCED)** 1-2 端子（⑳）と同じ信号が出力されます。

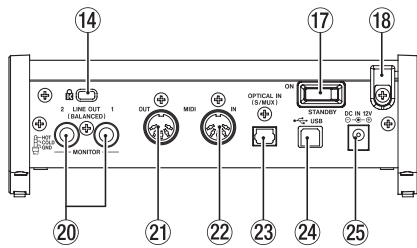
ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

#### メモ

**PHONES** Ω<sub>1</sub> 端子および**PHONES** Ω<sub>2</sub> 端子からは、同じ信号が同じレベル（音量）で出力されます。

## リアパネル

## SERIES 102i



## ⑭ ケンジントンロック装着穴

## ⑮ WORD IN / OUT端子 (SERIES 208i のみ)

BNCタイプのワードクロック信号の入出力端子です。  
ワードクロック信号 (44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz) を入出力します。

**注意**

デジタルシステム内にワードクロックマスターが複数存在すると、機器の破損など重大な問題を引き起こす可能性があります。

## ⑯ 75Ω ON / OFF切り換えスイッチ (SERIES 208i のみ)

このスイッチを「ON」に設定すると、WORD IN端子が75Ωで終端されます。

## ⑰ STANDBYスイッチ

電源のオン/スタンバイ状態の切り換えを行います。

## ⑱ コードホルダー

付属の専用ACアダプター (PS-P1220E) のコードを引っ掛けてプラグの抜け落ちを防止します。

## ⑲ LINE OUT (BALANCED) 3-8端子 (SERIES 208i のみ)

TRS標準ジャックタイプのアナログライン出力端子です。  
規定出力レベルは、+4dBuです。  
(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

## ⑳ LINE OUT (BALANCED) 1-2端子

TRS標準ジャックタイプのアナログライン出力端子です。  
規定出力レベルは、+4dBuです。  
(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

## ㉑ MIDI OUT端子

DIN 5ピンの標準MIDI出力端子です。  
MIDI信号を出力します。

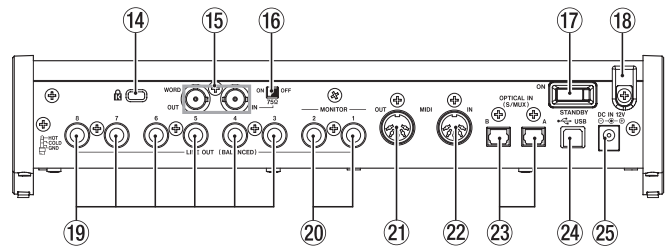
## ㉒ MIDI IN端子

DIN 5ピンの標準MIDI入力端子です。  
MIDI信号を入力します。

## ㉓ OPTICAL IN (S/MUX) 端子

OPTICALフォーマットのマルチチャンネルデジタルオーディオ入力端子です。  
サンプリング周波数は、44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHzに対応しています。  
88.2k/96kHzのフォーマットの場合はS/MUX2に、176.4k/192kHzのフォーマットの場合はS/MUX4に、それぞれ対応しています。

## SERIES 208i



## ㉔ USB端子

付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続します。  
(USB 2.0に対応)

**注意**

- USB3.0以上のポートに接続時は、USB2.0と同等なHigh Speedモード (最大480Mbps) で動作します。
- パソコンのサスペンドモードからの復帰後、正常に動作しない場合は、本記の電源を入れ直すか、USBケーブルの接続をし直してください。

## ㉕ DC IN 12V端子

付属の専用ACアダプター (PS-P1220E) を接続します。

# 第3章 インストール

## 必要なシステム

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) で確認ください。

### Windows の必要なシステム

#### 対応OS

Windows 10 32ビット  
Windows 10 64ビット  
Windows 8.1 32ビット  
Windows 8.1 64ビット  
Windows 7 32ビット SP1以上  
Windows 7 64ビット SP1以上  
(Windows 8、Windows Vista および Windows XP はサポート外)

#### 対応パソコン

USB2.0ポートまたはUSB3.0以上のポートを装備したWindows 対応パソコン

#### CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上 (x86)

#### メモリー

2GB以上

#### 注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

#### メモ

お使いのパソコンの環境によってはノイズが発生することがありますので、「電源オプション」画面の「電源プランの選択」を「高パフォーマンス」に設定していただくことをお勧めします。

### Mac の必要なシステム

#### 対応OS

macOS Mojave (10.14 以降)  
macOS High Sierra (10.13 以降)  
macOS Sierra (10.12 以降)

#### 対応パソコン

USB2.0またはUSB3.0以上のデバイスと接続可能なMac

#### CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上

#### メモリー

2GB以上

### iOS デバイスの必要なシステム

#### 対応OS

iOS 10 以降のApple社製品

### 対応オーディオドライバー

#### Windows

USB Audio Class 2.0、ASIO2.2、WDM (MME)、MIDI

#### Mac

Core Audio、Core MIDI

#### iOS デバイス

Core Audio for iPhone

## 専用ソフトウェアをインストールする

本機を使用するには、パソコンに専用ソフトウェアをインストールする必要があります。

専用ソフトウェアは、随時更新されています。最新のソフトウェアは、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに対応した最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

- Windows パソコンは、専用ソフトウェアをインストールすると Windows 専用のドライバー、および Windows 専用の Settings Panel (アプリケーション) がインストールされます。
- Macの場合は、専用ソフトウェアをインストールするとMac専用のSettings Panel (アプリケーション) のみをインストールします。ドライバーは、OS標準ドライバーを使用します。
- iOSデバイスの場合は、iOS標準のドライバーを使用しますので、専用ソフトウェアをインストールする必要はありません。

### 注意

ソフトウェアのインストール時には、他のアプリケーションを終了してからインストールを開始してください。

## Windows 専用ソフトウェアのインストール

以下の Windows 専用ソフトウェアのインストール手順にしたがってインストールしてください。

### 注意

- パソコンと本機をUSBケーブルで接続する前に、Windows 専用ソフトウェアのインストールを完了してください。
- パソコンに Windows 専用ソフトウェアをインストールする前に本機をUSBケーブルで接続し、パソコンに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動してしまっている場合は、そのウィザードを終了させ、USBケーブルを抜いてください。

## Windows 専用ソフトウェアのインストール手順

1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新の専用ソフトウェアをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存した Windows 専用ソフトウェア (zipファイル) をデスクトップなどに解凍してください。
3. 解凍して生成されるフォルダー内にある「TASCAM\_SERIES\_102i\_208i\_Installer\_x.xx.exe」(x.xx はバージョン番号) をダブルクリックすると、自動的にインストールソフトウェアが起動します。

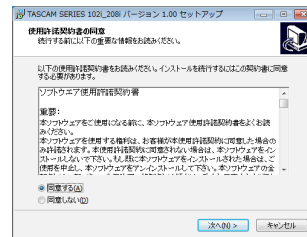
### 注意

zipファイルを解凍せずに、ダブルクリックして開かれたフォルダーでexeファイルをダブルクリックした場合には、インストーラーは起動できません。zipファイルを右クリックして表示されるメニューから「すべて展開...」を選択するなどして解凍してから再度実行してください。

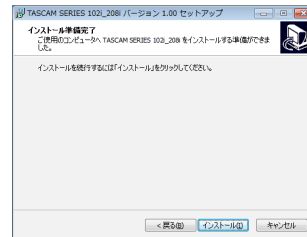
4. インストールする環境によっては「セキュリティの警告」または「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合があります。その場合は、「はい(Y)」ボタンをクリックします。



5. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、内容に同意ができれば、「同意する(A)」を選択します。次に「次へ(N) >」ボタンをクリックします。



6. 次に「インストール(I)」ボタンをクリックします。



7. Windowsセキュリティ画面が表示されますが、次に「インストール(I)」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



8. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。「完了(F)」ボタンをクリックします。



インストーラーが終了し、Windows 用Settings Panelが起動します。

### メモ

ソフトウェアをインストール後に初めて本機をUSB接続すると、デバイスドライバーのインストールが実行されます。このとき Windows は、自動的に Windows Update を検索するため、本機の接続が認識されるまでに時間がかかる場合があります。しばらくしても本機が認識されない場合、パソコンのディスプレイ右下の通知領域から、ソフトウェアのインストール画面を表示させ、「Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得をスキップする」をクリックして、検索を終了させてください。

# 第3章 インストール

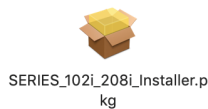
## Mac 専用ソフトウェアのインストール

### メモ

- パソコンにUSBケーブルで接続する前に、Mac 専用ソフトウェアをインストールしてください。
- Gatekeeperの設定により、インストール中に警告画面が表示されることがあります。Gatekeeperについては、8ページ「Gatekeeperについて」をご参照ください。

## Mac 専用ソフトウェアのインストール手順

1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新の専用ソフトウェアをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存した Mac 専用ソフトウェアのディスクイメージファイル「TASCAM\_SERIES\_102i\_208i\_Installer\_x.xx.dmg」ファイルをダブルクリックし、開いたフォルダー内の「SERIES\_102i\_208i\_Installer.pkg」をダブルクリックします。



### メモ

ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zipファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

3. インストーラーが起動しますので、「続ける」ボタンをクリックします。



4. 次に希望の言語を選択し、「続ける」ボタンをクリックします。



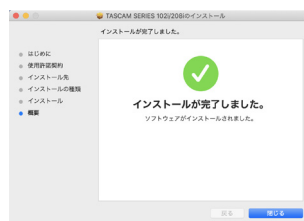
5. 「使用許諾契約を読む」ボタンをクリックして、使用許諾契約の内容を確認します。内容に同意ができたなら、「同意する」を選択します。次に「続ける」ボタンをクリックします。



6. 次に「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



7. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。「閉じる」ボタンをクリックします。



## Gatekeeperについて

macOS をお使いの場合、セキュリティー機能のGatekeeper設定により、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。表示された警告メッセージにより、対処方法が異なります。詳しくは、以下の対処方法をご参照ください。

## Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」にしている場合

「SERIES\_102i\_208i\_Installer.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。」というセキュリティーの警告画面が表示されることがあります。



その場合には「OK」ボタンをクリックして警告画面を閉じたあと、ファイル上でcontrolキーを押しながらクリックする、またはファイル上で右クリックし、メニューから「開く」をクリックしてください。

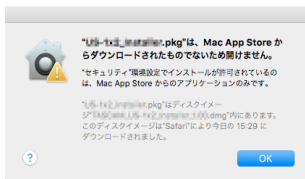


「“SERIES\_102i\_208i\_Installer.pkg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものではありません。開いてもよろしいですか？」という警告画面が表示されますので、「開く」ボタンをクリックしてください。



このとき、次のGatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合と同じ警告画面が表示されることがあります。

「“SERIES\_102i\_208i\_Installer.pkg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。」というメッセージが再度表示され、開けないことがあります。



このときは、ファイルのあるフォルダーからデスクトップなど他のフォルダーにファイルをコピーしてから実行するか、Gatekeeperの設定を「Mac App Storeと確認済みの開発元からのアプリケーションを許可」に変更してから再度実行してください。

## Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合

「“TASCAM\_SERIES\_102i\_208i\_Installer\_x.xx.dmg” は、アプリケーションで、インターネットからダウンロードされました。開いてもよろしいですか？」というセキュリティの警告画面が表示されることがありますが、その場合には「開く」ボタンをクリックしてください。



## Gatekeeperの設定を変えるには

Gatekeeperの設定は、システム環境設定の「セキュリティとプライバシー」から「一般」タブの「ダウンロードしたアプリケーションの実行許可：」項目で変更できます。変更するには左下の アイコンをクリックし、パスワードを入力してロックを解除する必要があります。



ボタンもしくはcommand + Qなどでシステム環境設定を終了する、または「すべてを表示」をクリックしてこの画面から移動すると、再度ロックされます。

### 注意

Gatekeeperの設定を変えることで、セキュリティにリスクが生じる場合があります。Gatekeeperの設定を変更してセキュリティを下げた（下にある項目に変更した）ときは、本ドライバーやファームウェアアップデートの終了後（ドライバーインストール直後にファームウェアアップデートを行う場合はファームウェアアップデート後）に設定を元に戻してください。

## 専用ソフトウェアのアンインストール

### メモ

通常は専用ソフトウェアのアンインストール作業は、必要ありません。問題が発生した場合や本機の使用をおやめになる場合に、以下の手順をご参照ください。

### Windows 専用ソフトウェアのアンインストール

1. ご使用のOS (Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7) に適した設定方法で「プログラムのアンインストールまたは変更」画面を開きます。
2. 一覧の中から「TASCAM SERIES 102i\_208i バージョン x.xx」を選択し、ダブルクリックします。
3. 以降は、スクリーンの指示にしたがってください。

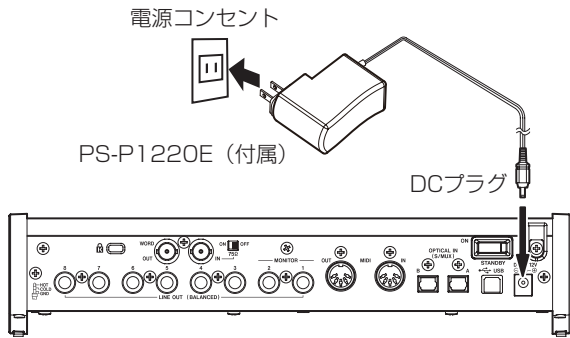
### Mac 専用ソフトウェアのアンインストール

「SERIES 102i\_208i」をアプリケーションフォルダー内から削除すれば、アンインストールが完了です。

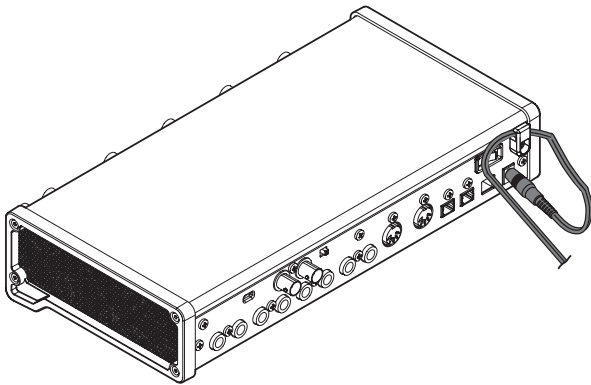
# 第4章 準備

## 電源を接続する

同梱されている付属の専用ACアダプター（PS-P1220E）を使って、以下のように電源を本機に接続します。



使用中のコード抜কেを防ぐため、接続するときはコードホルダーにコードを巻いてください。



### 注意

必ず同梱されている専用ACアダプター（PS-P1220E）をお使いください。他のACアダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。

### メモ

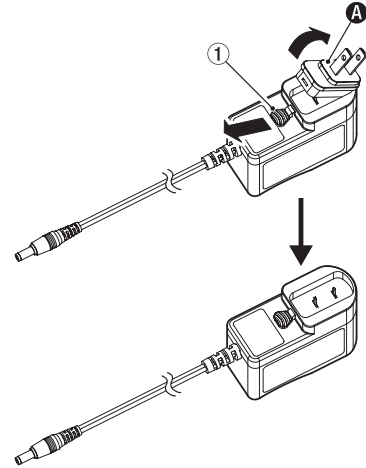
専用ACアダプターには、4種類のコンセントプラグが同梱されています。ご使用になる電源コンセントの形状に合ったコンセントプラグに取り替えてご使用ください。（→ 10ページ「コンセントプラグの交換方法」）

## コンセントプラグの交換方法

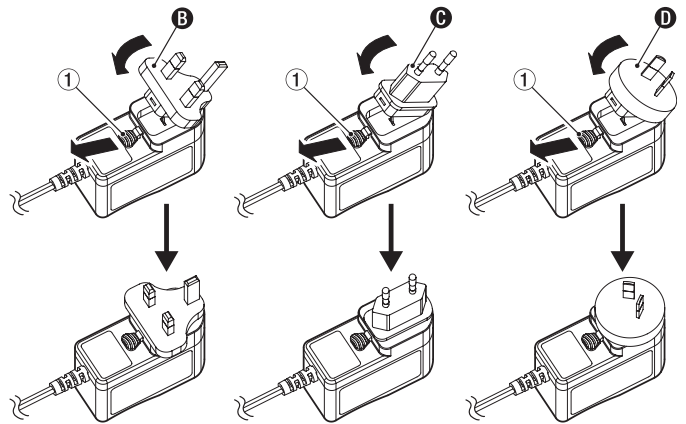
### メモ

本機をお買い上げ時、付属する専用ACアダプター（PS-P1220E）にはコンセントプラグ（A）が取り付けられています。改めてコンセントプラグを交換する必要はありません。

1. 専用ACアダプター（PS-P1220E）のノブ（①）を矢印方向に移動させ、コンセントプラグ（A）を引き抜きます。



2. 付属する3種類のコンセントプラグ（B / C / D）の中からACコンセントの形状に合うコンセントプラグを選びます。
3. もう一度、ノブ（①）を矢印方向に移動させ、ACアダプターにコンセントプラグを差し込みます。



以上でコンセントプラグの交換は完了です。交換完了後にコンセントプラグの浮きやガタつきがないか確認し、異常がなければ電源コンセントに接続してください。

### 注意

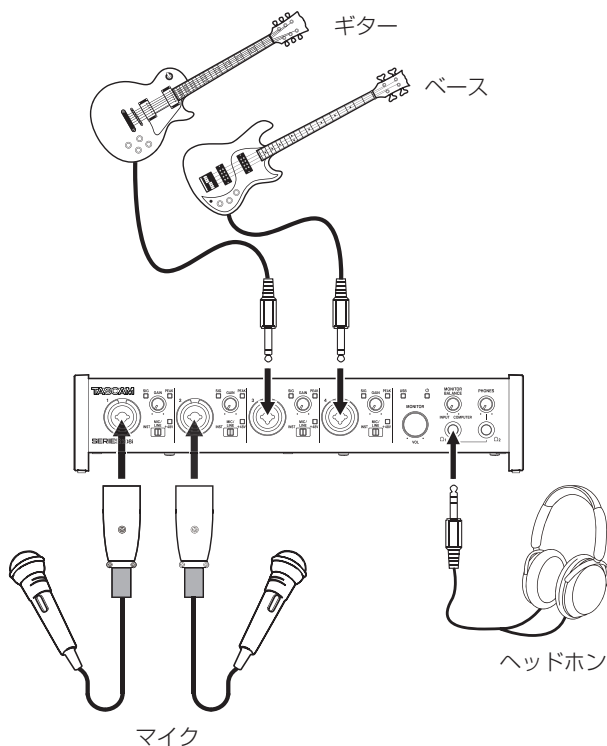
交換後のコンセントプラグに異常がある場合は、使用を中止してください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。

## 外部機器を接続する

以下に、SERIES 208i の接続例を示します。

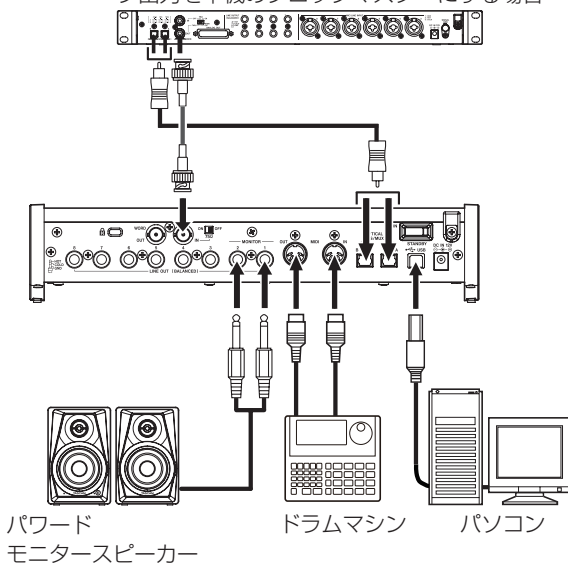
### 接続前の注意

- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にします。
- 各機器の交流電源は、なるべく同一上の電源ラインから供給するように設置してください。テーブルタップなどをご使用になる場合、交流電源の電圧変動が少なくなるように、電流容量が大きい太いケーブルをご使用ください。



### S/MUX搭載マイクプリアンプ

例：TASCAM SERIES 8p Dyna のワードクロック出力を本機のクロックマスターにする場合



[ SERIES 208i を使った接続例 ]

## パソコンの接続

付属のUSBケーブルを使って、本機とパソコンのUSB2.0ポートまたはUSB3.0以上のポートに接続してください。USBの接続が有効になると、フロントパネルの**USB**インジケーターが点灯します。

### 注意

USBハブなどで本機を接続した場合、そのUSBバス上のUSB機器の影響でオーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどが発生することがあります。そのため本機の接続は、別のUSBポートに接続することを強くお勧めします。ただし、USBキーボードとUSBマウスは接続しても問題ありません。

## iOSデバイスとの接続

iOSデバイスとの接続には、Lightning-USBカメラアダプタと本機付属のUSBケーブルが必要です。

### メモ

- 本機と接続時、本機からiOSデバイスへの電源供給は行われません。
- iOSは、176.4k/192kHzのサンプリング周波数に対応していません。

## オーディオの接続

マイク、ギター、キーボード、オーディオ機器など、本機に入力されたアナログ音声信号は、デジタル信号に変換されたあとにUSBを経由してパソコンに送られます。また、スピーカー（アンプ経由）やヘッドホンを実機に接続することにより、本機に入力されるオーディオ信号やパソコンからの出力信号をモニターすることができます。

### 注意

オーディオ機器を接続する場合には、**GAIN**つまみ、**MONITOR**つまみ、および**PHONES**つまみを下げた状態で行ってください。モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。

## マイクを接続する

### ダイナミックマイク

フロントパネルの **1-2** 入力端子および **3-4** 入力端子 (SERIES 208i のみ) に接続します。

### コンデンサーマイク

ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクをご使用になる場合は **1-2** 入力端子および **3-4** 入力端子 (SERIES 208i のみ) に接続し、入力切り換えスイッチを「**+48V**」に設定してください。

入力切り換えスイッチが「**+48V**」に設定されているときは、フロントパネルの**+48V**インジケーターが点灯します。

### 注意

入力切り換えスイッチの切り換えは、**MONITOR**つまみと**PHONES**つまみを下げた状態で行ってください。大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。

### 注意

- 入力切り換えスイッチは、チャンネルごとに切り換えが可能です。ファントム電源を必要としないマイクを接続している場合は、入力切り換えスイッチを「**+48V**」に設定しないでください。
- 入力切り換えスイッチを「**+48V**」にした状態で、マイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場

## 第4章 準備

合のみ、入力切り換えスイッチを「+48V」にしてください。ファントム電源を必要としないダイナミックマイクなどを接続しているときに入力切り換えスイッチを「+48V」にすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。

- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。

### ギターを接続する

ギターやベースを直接本機に接続する場合は、フロントパネルの**1-2**入力端子および**3-4**入力端子（SERIES 208i のみ）に接続し、その端子の入力切り換えスイッチを「INST」に設定します。

### 電子機器／オーディオ機器などを接続する

電子楽器やオーディオ機器などを接続する場合は、フロントパネルの**1-2**入力端子および**3-4**入力端子（SERIES 208i のみ）に接続し、その端子の入力切り換えスイッチを「MIC/LINE」に設定します。

### アナログレコードプレーヤーを接続する

アナログレコードプレーヤーの出力は、直接本機に接続することができません。アナログレコードプレーヤーを本機に接続するには、アナログレコードプレーヤーと本機の間にはフォノイコライザーアンプが必要です（あるいはフォノ入力端子を持つオーディオアンプを介して接続します）。

### モニタースピーカーを接続する

モニタースピーカー（パワーモニタースピーカーまたはアンプ／スピーカーシステム）は、リアパネルの**LINE OUT (MONITOR) 1-2**端子に接続します。

スピーカーの音量は、フロントパネルの**MONITOR**つまみで調整可能です。

### ヘッドホン接続する

ヘッドホンは、フロントパネルの**PHONES** Ω<sub>1</sub> 端子または**PHONES** Ω<sub>2</sub> 端子（ステレオ標準ジャック）に接続します。

#### △ 注意

ヘッドホンを接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

#### メモ

**PHONES** Ω<sub>1</sub> 端子および**PHONES** Ω<sub>2</sub> 端子からは、同じ信号が同じレベル（音量）で出力されます。

### MIDIの接続

音源モジュール、キーボード／シンセサイザー、ドラムマシンなどのMIDI機器と本機を、以下のように接続します。

- MIDI機器の音をモニターしたい場合は、これらの出力を本機フロントパネルの**1-2**入力端子および**3-4**入力端子（SERIES 208i のみ）に入力するか、外部ミキサーを使ってモニターしてください。
- リアパネルの**MIDI IN / OUT**端子を使って、MTC（MIDIタイムコード）の送受信を行うことができます。これにより、MTC対応アプリケーションソフトでMTR（マルチトラックレコーダー）とMIDI機器を同期することができます。

## Settings Panelを開く

Settings Panelを使って、本機の各種機能の設定を行うことができます。

Settings Panelを開くには、次の方法があります。

### メモ

iPadなどのiOSデバイスでは、Settings Panelを使用することはできません。

## Windows

- 「スタートメニュー」の「TASCAM」から「SERIES 102i\_208i」を選択します。

## Mac

- 「Launchpad」から「SERIES 102i\_208i」をクリックする。
- 「Finder」→「アプリケーション」→「SERIES 102i\_208i」をクリックして、Settings Panelを開く。
- 「Audio MIDI設定」の「オーディオ装置」ウィンドウで→「SERIES 102i」または「SERIES 208i」を選択した状態でcontrolキーを押しながらクリック（右クリック）、または  ボタンをクリックして表示されるメニューの中から「装置を設定...」をクリックして、Settings Panelを開く。

## Settings Panelについて

Settings Panelには、3つの画面があります。

Settings Panel上部の各タブをクリックすると、選択された画面の表示になります。

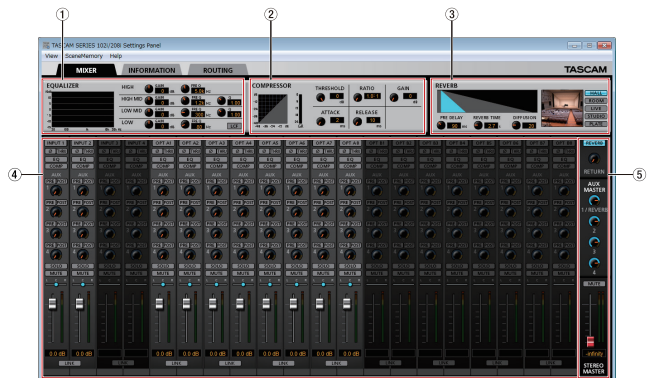
- **MIXER**：内蔵ミキサー、内蔵エフェクターの設定を行います。
- **INFORMATION**：ドライバーの現在のステータス（状態）／接続情報を表示します。また、各種設定を行います。
- **ROUTING**：出力の設定やMonitor Control (SERIES 208iのみ)の設定を行います。

### 注意

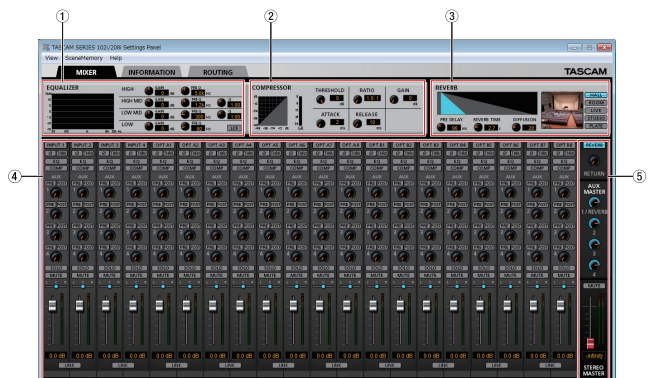
Settings Panelを開くときは最後に閉じたときの状態で開きますが、各画面（**MIXER** / **INFORMATION** / **ROUTING**）の設定値は、各画面を設定しただけではシーンメモリーに保存されません。シーンメモリーに保存するには、メニューバーにある「SceneMemory」メニューから保存操作を行ってください。（→ 24ページ「Settings Panelの設定の保存」）

また、スタンドアロンで使いたい場合は、本体に保存させる必要があります。本体に保存させるには、メニューバーにある「SceneMemory」メニューの「Save into the unit」を実行してください。（→ 26ページ「Settings Panelの設定を本体に保存する」）

## MIXER 画面



[ SERIES 102i Windows 用 Settings Panel ・ MIXER 画面 ]



[ SERIES 208i Windows 用 Settings Panel ・ MIXER 画面 ]

### ① EQUALIZER表示部

本機には、4バンド（HIGH / HIGH MID / LOW MID / LOW）のイコライザーが搭載されています。

イコライザーは、特定の周波数帯域を増幅あるいは減衰させるエフェクターです。個々の楽器の色付けや、幅広い帯域のバランス調整や余分な帯域のピンポイント・カットなどに使用します。（→ 14ページ「EQUALIZER（4バンドイコライザー）表示部の詳細」）

イコライザーの設定をする場合、設定したいチャンネルのセレクトボタンを選択します。

セレクトボタンで選択したチャンネルのイコライザーの設定がここに表示されます。

### ② COMPRESSOR表示部

入力音量がスレッシュホールドレベルを超えた場合に、コンプレッション（音量の変化幅を圧縮）し、音量のバラつきを抑えます。たとえば、発音時のレベルの高い部分を潰して全体のレベルをそろえ、減衰音のレベルを持ち上げることによって伸びのある音にすることができます。（→ 15ページ「COMPRESSOR表示部の詳細」）

コンプレッサーの設定をする場合、設定したいチャンネルのセレクトボタンを選択します。

セレクトボタンで選択したチャンネルのコンプレッサーの設定がここに表示されます。

#### メモ

- 入力がステレオ信号（ステレオリンクしているチャンネルまたはマスター）の場合は、LチャンネルまたはRチャンネルのどちらか一方でもスレッシュホールドレベルを超えると圧縮動作が始まり、LチャンネルおよびRチャンネルの両方の音が圧縮されます。
- コンプレッサーがオフのときは、コンプレッサーのカーブは表示しますが、メーターの表示はしません。

### ③ REVERB表示部

原音に対して残響を加えるエフェクターです。原音を様々な時間で遅延させた複数の音を自然に近い対時間減衰特性を持たせて混ぜることにより、ホール、ライブハウスやスタジオのような残響を生み出します。（→ 15ページ「REVERB表示部の詳細」）

### ④ チャンネルミキサー表示部

チャンネルごとの状態や設定を行います。（→ 16ページ「チャンネルミキサー表示部の詳細」）

#### メモ

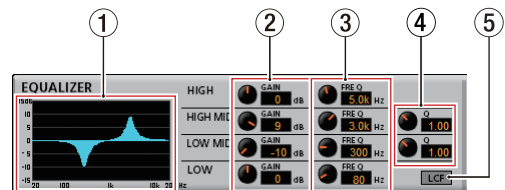
SERIES 208iを接続時は、全てのチャンネルが使用可能です。SERIES 102iを接続時は、INPUT 3 / INPUT 4 チャンネルおよび OPT B1 - B8 チャンネルがグレーアウト表示になり使用できません。

### ⑤ 出力調節表示部

REVERB、AUX MASTER および STEREO MASTER に関する設定を行います。（→ 18ページ「出力調節表示部の詳細」）

### EQUALIZER（4バンドイコライザー）表示部の詳細

特定の周波数帯域を増幅あるいは減衰させるエフェクターです。個々の楽器の色付けや、幅広い帯域のバランス調整や余分な帯域のピンポイント・カットなどに使用します。



HIGHバンドはハイシェルピング（棚型）イコライザー、LOWバンドはローシェルピング（棚型）イコライザー、HIGH MID / LOW MIDバンドはピーキング（ベル型）イコライザーです。

#### ① EQグラフ表示

現在のイコライザー設定の周波数特性を表示します。EQグラフは、イコライザーがオフのときも表示されます。

#### ② GAINつまみ（HIGH / HIGH MID / LOW MID / LOW）

HIGHバンド / HIGH MIDバンド / LOW MIDバンド / LOWバンドの増幅・減衰量を設定します。

設定範囲：±12dB（初期値：0dB）

#### ③ FREQつまみ（HIGH / HIGH MID / LOW MID / LOW）

HIGHバンド / HIGH MIDバンド / LOW MIDバンド / LOWバンドのカットオフ周波数を設定します。

設定範囲

HIGH：1.7kHz ~ 18.0kHz（初期値：5kHz）  
HIGH MID：32Hz ~ 18.0kHz（初期値：1.2kHz）  
LOW MID：32Hz ~ 18.0kHz（初期値：300Hz）  
LOW：32Hz ~ 1.6kHz（初期値：80Hz）

#### ④ Qつまみ（HIGH MID / LOW MID）

HIGH MIDバンド / LOW MIDバンドの尖鋭度（尖り具合）を設定します。

値が大きいほど尖った特性になり、狭い範囲の周波数帯域に作用します。値が小さいほどなだらかな特性になり、広い範囲の帯域に作用します。

設定範囲

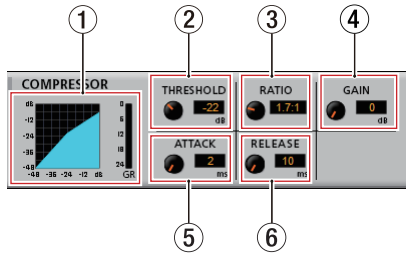
HIGH MID：0.25 ~ 16.00（初期値：1.00）  
LOW MID：0.25 ~ 16.00（初期値：1.00）

#### ⑤ LCFボタン

LCF ボタンをクリックすると、LCF ボタンが点灯し低域の雑音などをカットするローカットフィルター機能が有効になります。（初期値：オフ）

## COMPRESSOR表示部の詳細

入力音量がスレッシュホルドレベルを超えた場合に、コンプレッション（音量の変化幅を圧縮）し、音量のバラつきを抑えます。たとえば、発音時のレベルの高い部分を潰して全体のレベルをそろえ、減衰音のレベルを持ち上げることによって伸びのある音にすることができます。



### ① コンプレッサー状態表示

コンプレッサーの入力信号レベル（INPUT）と出力信号レベル（OUTPUT）、およびゲインリダクションレベル（GR）の3種類のメーターで状態を表示します。

### ② THRESHOLDつまみ

コンプレッサーをかけ始めるレベル（スレッシュホルドレベル）を調節します。

設定範囲：-32dB ~ 0dB（初期値：0dB）

### ③ RATIOつまみ

入力音量の圧縮率を設定します。右へ回すほど圧縮率が高くなり、圧縮幅が増加します。

設定範囲：1.0 : 1 ~ inf : 1（初期値：1.0 : 1）

### ④ GAINつまみ

出力音量の増幅幅を設定します。コンプレッサーでは音量の圧縮を行うため、入力音に比べ出力音のレベルは低くなります。GAIN つまみで出力音を増幅させることにより、入力音に近いレベルに戻すことができます。

設定範囲：0dB ~ 20dB（初期値：0dB）

### ⑤ ATTACKつまみ

入力音量がスレッシュホルドレベルを超えた場合に、RATIO つまみで設定された圧縮率までに達するまでの時間を設定します。

設定範囲：2ms ~ 200ms（初期値：2ms）

### ⑥ RELEASEつまみ

入力音量がスレッシュホルドレベルより下がったあと、圧縮が解除され通常のレベルに戻るまでの時間を設定します。

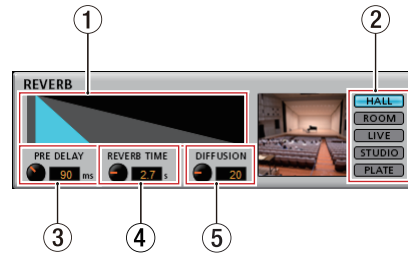
設定範囲：10ms ~ 1000ms（初期値：10ms）

### メモ

- 入力がステレオ信号（ステレオリンクしているチャンネルまたはマスター）の場合は、LチャンネルまたはRチャンネルのどちらか一方でもスレッシュホルドレベルを超えると圧縮動作が始まり、LチャンネルおよびRチャンネルの両方の音が圧縮されます。
- コンプレッサーがオフのときは、コンプレッサーのカーブは表示しますが、メーターの表示はしません。

## REVERB表示部の詳細

原音に対して残響を加えるエフェクターです。原音を様々な時間で遅延させた複数の音を自然に近い対時間減衰特性を持たせて混ぜることにより、ホール、ライブハウスやスタジオのような残響を生み出します。



### ① リバース状態表示

PRE DELAY つまみとREVERB TIME つまみの設定状態を表示します。

### ② リバースタイプ選択スイッチ

リバースタイプを選択します。リバースタイプによって残響音の密度やレベルが変化します。

選択肢：HALL（初期値）、ROOM、LIVE、STUDIO、PLATE

### ③ PRE DELAYつまみ

初期反射音の遅延時間を設定します。値が大きいほど、広い空間の反射音となります。

設定範囲：0ms ~ 250ms（初期値：90ms）

### ④ REVERB TIMEつまみ

残響音の持続時間を設定します。値が大きいほど残響音が長く持続します。

設定範囲：0.1s ~ 10s（初期値：2.7s）

### ⑤ DIFFUSIONつまみ

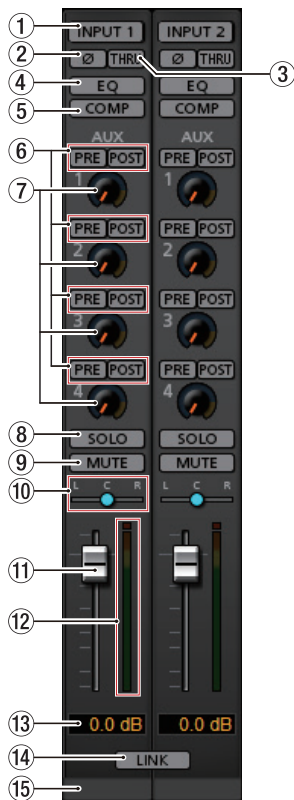
残響の広がり具合を設定します。

設定範囲：0 ~ 100（初期値：20）

### メモ

メニューバーの View メニューの Initialize Reverb 項目をクリックすると、REVERB 表示内の設定を初期化することはできます。（→ 23ページ「リバース設定の初期化」）

## チャンネルミキサー表示部の詳細



[ Settings Panel · MIXER画面1-2チャンネル ]

### ① セレクトボタン

選択したチャンネルのイコライザーとコンプレッサーの設定状態が、EQUALIZER 表示部と COMPRESSOR 表示部に表示されます。

- オフ (初期値) : セレクトボタンが消灯
- オン : セレクトボタンが点灯

選択中のチャンネルから別のチャンネルを選択したいときは、選択したいチャンネルのボタンを押します。今まで選択されていたチャンネルのボタンが消灯し、新しく選択されたチャンネルのボタンが点灯し、選択が切り換わります。

### ② φ ボタン

各チャンネルの信号の位相(フェーズ)を変更します。マイクのワイヤリングなどの原因により位相が逆相になっている場合、φ ボタンをオン(点灯)させてチャンネルの位相(フェーズ)を反転します。(初期値: オフ)

### ③ THRUボタン

THRU ボタンをクリックすると、THRU ボタンが点灯したチャンネルの入力信号がミキサーを通さずに直接パソコンに送られます。ミキサーを通らなくなるので、フェーズ、イコライザーおよびコンプレッサーの設定が無効になります。

### ④ EQボタン

各チャンネルのイコライザーをオン/オフを切り換えます。EQ ボタンをクリックすると、EQ ボタンが点灯し EQUALIZER 表示部で設定したイコライザーが有効になります。

### ⑤ COMPボタン

各チャンネルのコンプレッサーをオン/オフを切り換えます。COMP ボタンをクリックすると、COMP ボタンが点灯し COMPRESSOR 表示部で設定したコンプレッサーが有効になります。

### ⑥ PRE / POSTボタン

AUXバスに送る信号の取り出し位置を選択します。選択されたボタンが点灯します。

点灯状態	内容
PRE ボタン消灯 POST ボタン消灯 (初期値)	信号はAUXバスに送られません。
PRE ボタン点灯	チャンネルフェーダーの手前の信号をAUXバスに送ります。AUXレベルがチャンネルフェーダーの影響を受けなくなります。
POST ボタン点灯	チャンネルフェーダーの後の信号をAUXバスに送ります。AUXレベルがチャンネルフェーダーの影響を受けます。

### ⑦ AUX 1 ~ 4つまみ/インジケーター

AUXバスに送る信号のレベル (AUXレベル) を調節します。

調節範囲: -inf. ~ 6dB (初期値: -inf.)

AUX つまみを上下にドラッグした状態で、AUXレベルを調節します。

ドラッグしている間は、調節した値が AUX つまみの右下側に表示されます。

インジケーターは0dB以下のレベルは青色、0dB ~ 6dBは黄色が点灯します。

### ⑧ SOLOボタン

SOLO ボタンをオンにしたチャンネル以外のチャンネルが自動的にミュート (消音) されます (インプレースソロモニター)。ミュートされたチャンネルの MUTE ボタンは点灯します。(初期値: オフ)

また、複数のチャンネルを同時にソロにすることも可能です。

#### メモ

- 全ての SOLO ボタンがオフの状態、あるチャンネルの SOLO ボタンをクリックするとソロへ入り、他の全てのチャンネルが自動的にミュートされて、MUTE ボタンが点灯します。
- 全ての SOLO ボタンがオフになると、ソロにより自動的にミュートされていたチャンネルのミュートが解除され、ソロに入る前のミュート状態が復帰します。
- STEREO MASTER チャンネルの MUTE ボタンは、ソロにより自動的にオンにはなりません。

### ⑨ MUTEボタン

MUTE ボタンをクリックすると、MUTE ボタンが点灯したチャンネルがミュート (消音) されます。(初期値: オフ)

#### メモ

ミュートは、MUTE ボタンでのオン/オフ時以外に、SOLO ボタンを使用したときにも自動的に切り換わります。



### ⑩ パンスライダー

各チャンネルの入力信号の定位を調節します。  
 パンスライダーのノブを左右にドラッグした状態で、定位を調節します。  
 ドラッグしている間は、調節した位置がチャンネルレベルメーター (⑩) 上側に表示されます。  
 左端のときは「L20」、右端のときは「R20」、中央では「C」を表示します。

**設定範囲**：L20 ~ L1、C (初期値)、R1 ~ R20

パンスライダーのノブの色は、中央「C」のとき青色、それ以外は黄色になります。

#### メモ

- パンスライダーのノブが中央「C」のとき、3dB下げられた信号がステレオバスのLバスとRバスの両方に送られます。
- パンスライダーをダブルクリックすると、パンスライダーが「C」の位置に戻ります。
- パンスライダーのノブが左端のときは「L20」、そのチャンネルの信号はステレオバスのLバスのみを送られ、Rバスには送られません。
- パンスライダーのノブが右端のときは「R20」、そのチャンネルの信号はステレオバスのRバスのみを送られ、Lバスには送られません。

### ⑪ チャンネルフェーダー

各チャンネルの信号をステレオバスへ送るレベルを調節します。

**設定範囲**：-infinity ~ 6.0dB (初期値：0.0dB)

チャンネルフェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグした状態で、チャンネルレベルを調節します。  
 チャンネルフェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示部 (⑬) に表示されます。

#### メモ

フェーダーノブをSHIFT+クリックすると、フェーダーが0dBに設定されます。

### ⑫ チャンネルレベルメーター

各チャンネルの信号のレベルは、各チャンネルレベルメーターに表示します。  
 チャンネルレベルメーターは-12dB以下のレベルを緑色、-12dB ~ -6dBを黄色、-6dB以上は赤色が点灯します。  
 レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケーターです。

#### メモ

各チャンネルのメーターは、プリフェーダー (フェーダーに入る前) です。フェーダーで調節する、またはミュートをかけてもレベルメーターには反映されません。

### ⑬ フェーダーレベル表示部

この表示部の上にあるチャンネルフェーダーのレベルをデシベル単位の数値で表示します。

### ⑭ LINKボタン

LINK ボタンをクリックにすると、LINK ボタンが点灯し奇数チャンネルと偶数チャンネルが1つのステレオチャンネルに統合されます。(初期値：オフ)

ステレオリンクモードの表示に変わり、各チャンネルの各ボタンおよび各つまみ類が統合されます。また、チャンネルレベルメーターがステレオ表示になります。

詳細は、19ページ「LINK ボタンの詳細」をご参照ください。

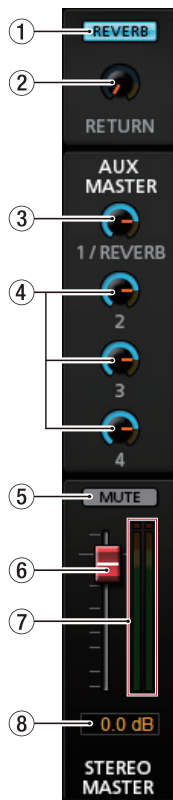
### ⑮ チャンネルメモ表示部

最大6文字までの英数文字が入力できます。

#### 文字入力の方法

- この場所をクリックすると、カーソルが点滅して入力待ち状態になります。その状態でパソコンのキーボードから文字を入力します。入力を終わったらパソコンのEnterキーを押して確定します。
- 文字を入力したあとは、入力を確定するために必ずパソコンのEnterキーを押してください。Enterキーを押さずにMIXER 画面から他のタブ画面に移動すると、入力した文字は表示されますが保存はされません。

## 出力調節表示部の詳細



### ① REVERBボタン

REVERB ボタンをクリックして、リバーブをかけます。  
(初期値：オン)  
リバーブがオンのとき、REVERB が点灯します。

### メモ

サンプリング周波数が176.4k/192kHzの場合は、リバーブをオンにすることはできません。

### ② RETURNつまみ／インジケーター

リバーブエフェクトからステレオバスに戻す信号のリターンレベルを調節します。

調節範囲：-inf. ～ 6dB (初期値：-inf.)

RETURN つまみを上下にドラッグした状態で、リターンレベルを調節します。

ドラッグしている間は、調節した値が RETURN つまみの右下側に表示されます。

インジケーターは0dB以下のレベルは青色、0dB ～ 6dBは黄色が点灯します。

### ③ AUX MASTER 1/REVERBつまみ／インジケーター

AUX1バスとリバーブエフェクトに送る信号のセンドマスターレベルを調節します。

調節範囲：-inf. ～ 6dB (初期値：0dB)

1/REVERB つまみを上下にドラッグした状態で、センドレベルを調節します。

ドラッグしている間は、調節した値が 1/REVERB つまみの右下側に表示されます。

インジケーターは0dB以下のレベルは青色、0dB ～ 6dBは黄色が点灯します。

### ④ AUX MASTER 2 ～ 4つまみ／インジケーター

AUX2バス～ AUX4バスに送る信号のセンドマスターレベルを調節します。

調節範囲：-inf. ～ 6dB (初期値：0dB)

2 つまみ～ 4 つまみを上下にドラッグして、センドレベルを調節します。

ドラッグしている間は、調節した値が 2 つまみ～ 4 つまみの右下側に表示されます。

インジケーターは0dB以下のレベルは青色、0dB ～ 6dBは黄色が点灯します。

### ⑤ MUTEボタン

STEREO MASTER 出力がミュート (消音) されます。(初期値：オフ)

### ⑥ STEREO MASTERフェーダー

出力信号のレベルを調節します。

設定範囲：-infinity ～ 6.0dB (初期値：0.0dB)

STEREO MASTER フェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグした状態で、マスターレベルを調節します。

調節した値が、STEREO MASTER フェーダーレベル表示部 (⑧) に表示されます。

### ⑦ STEREO MASTERレベルメーター

マスターレベルをステレオレベルメーターに表示します。

STEREO MASTER レベルメーターは-12dB以下のレベルを緑色、-12dB ～ -6dBを黄色、-6dB以上は赤色が点灯します。レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケーターです。

### メモ

STEREO MASTER レベルメーターはポストフェーダー (フェーダーを通じたあと) です。フェーダーで調節する、またはミュートをかけたりするとレベルメーターに反映されます。

### ⑧ STEREO MASTERフェーダーレベル表示部

STEREO MASTER フェーダーのレベルをデシベル単位の数値で表示します。

## LINK ボタンの詳細

MIXER 画面の LINK ボタンをオン/オフしたとき、ステレオリンク時とステレオリンク解除時で設定状態が異なります。設定の詳細は、以下になります。

### LINK ボタンをオフからオン時の設定状態

各ボタン/つまみ	設定状態
セレクトボタン	どちらかのチャンネルがオン（セレクトボタン点灯）の場合、オンに設定されます。 どちらのチャンネルもオフ（セレクトボタン消灯）の場合、オフに設定されます。
φ（フェーズ）ボタン	設定は統合されません。 各チャンネルの設定がそのまま保持されます。
THRU ボタン	奇数チャンネルの設定に統合されます。
EQ ボタン	奇数チャンネルの設定に統合されます。
COMP ボタン	奇数チャンネルの設定に統合されます。
PRE / POST ボタン	奇数チャンネルの設定に統合されます。
AUX つまみ（1～4）	奇数チャンネルの設定に統合されます。
SOLO ボタン	奇数チャンネルの設定に統合されます。
MUTE ボタン	奇数チャンネルの設定に統合されます。
パンスライダー	設定は、統合されません。 奇数チャンネルと偶数チャンネルは、それぞれ独立して設定が可能です。
チャンネルフェーダー	奇数チャンネルの設定に統合。
チャンネルレベルメーター	チャンネルレベルメーターがステレオ表示になります。
フェーダーレベル表示部	奇数チャンネルの設定値を表示します。

### メモ

LINK ボタンがオン（LINK ボタン点灯）のとき、セレクトボタン名がステレオリンク時の名前が変更されます。

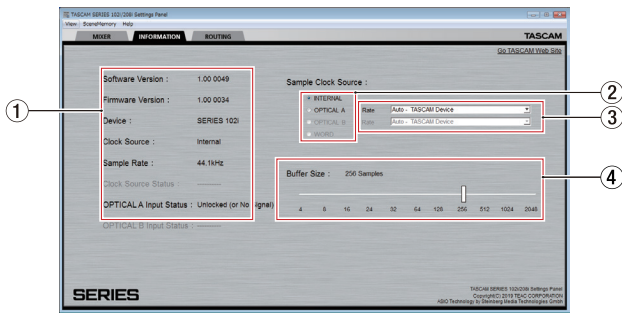
### 例)

INPUT 1 ボタンと INPUT 2 ボタンのリンク時は、INPUT 1-2 ボタンに名前が変更。

### LINK ボタンをオンからオフ時の設定状態

各ボタン/つまみ	設定状態
セレクトボタン	オン（セレクトボタン点灯）の場合は奇数チャンネルがオンに、偶数チャンネルがオフに設定されます。 オフ（セレクトボタン消灯）の場合は、どちらのチャンネルもオフに設定されます。
φ（フェーズ）ボタン	設定は変わらず、各チャンネルの設定がそのまま保持されます。
THRU ボタン	どちらのチャンネルも、ステレオリンク時に設定した値に設定されます。
EQ ボタン	どちらのチャンネルも、ステレオリンク時に設定した値に設定されます。
COMP ボタン	どちらのチャンネルも、ステレオリンク時に設定した値に設定されます。
PRE / POST ボタン	どちらのチャンネルも、ステレオリンク時に設定した値に設定されます。
AUX つまみ（1～4）	どちらのチャンネルも、ステレオリンク時に設定した値に設定されます。
SOLO ボタン	どちらのチャンネルも、ステレオリンク時に設定した値に設定されます。
MUTE ボタン	どちらのチャンネルも、ステレオリンク時に設定した値に設定されます。
パンスライダー	どちらのチャンネルも、ステレオリンク時に設定した値に設定されます。
チャンネルフェーダー	どちらのチャンネルも、ステレオリンク時に設定した値に設定されます。
チャンネルレベルメーター	チャンネルレベルメーターがモノラル表示になります。
フェーダーレベル表示部	どちらのチャンネルも、ステレオリンク時に設定した値に設定されます。

## INFORMATION 画面



### ① ステータス表示部

現在のステータス（状態）を表示しています。

表示項目	表示内容
Software Version	ソフトウェアのバージョンを表示。
Firmware Version	接続中の本機のファームウェアバージョンを表示。
Device	接続中の本機の装置名を表示。 (未接続時は、「No Device」と表示されます)
Clock Source	現在選択しているのクロックソース名を表示。
Sample Rate	現在のサンプリング周波数を表示。
Clock Source Status	サンプルクロックの状態を表示します。 <b>Good</b> : 問題無し。 <b>Unlocked (or No Signal)</b> : 有効な信号なし、または未接続。 <b>Phase Error</b> : 本機とOPTICAL接続している機器の同期がとれていません。 <b>Sample Rate Mismatch</b> : 本機とOPTICAL接続している機器のサンプルレートが異なっています。
OPTICAL A Input Status	OPTICAL入力の状態を表示します。 <b>Good</b> : 問題無し。 <b>Unlocked (or No Signal)</b> : 有効な信号なし、または未接続。
OPTICAL B Input Status (SERIES 208iのみ)	<b>Phase Error</b> : 本機とOPTICAL接続している機器の同期がとれていません。 <b>Sample Rate Mismatch</b> : 本機とOPTICAL接続している機器のサンプルレート*が異なっています。

\* 本機のサンプルレートは、

- Win : サウンドプロパティの録音タブ/再生タブ両方を同じサンプルレートに設定します。
- Mac : Audio MIDI設定のオーディオ装置画面でサンプルレートを設定します。

### メモ

- 本機とパソコンが接続されていないときに、Firmware Version 項目と Device 項目は、「No Device」と表示されます。
- ② Sample Clock Source 項目の設定が「Internal」を選択している場合は、Clock Source Status 項目の表示が「-----」をグレースケール表示します。

### ② Sample Clock Source項目

サンプルクロックソースを設定します。

選択肢	表示内容
INTERNAL	常に本機の内部クロックを使用します。
OPTICAL A	<b>OPTICAL IN (S/MUX)</b> 端子に入力されているクロック信号を使用します。
OPTICAL B (SERIES 208iのみ)	本機と接続している機器がTASCAM機器の場合で、③ Rate 設定が「Auto - TASCAM Device」のときは、入力されているクロック信号を自動で識別し、設定します。
WORD (SERIES 208iのみ)	<b>WORD IN</b> 端子に入力されているクロック信号を使用します。

### メモ

- OPTICAL A / OPTICAL B / WORD に設定した場合に、各入力端子に信号が入力されていないときや同期ができなくなったときは、Clock Source Status 項目にステータス（状態）が表示され、本機の**STANDBY**インジケータが点滅します。
- SERIES 208i に複数のデジタル機器を接続する場合は、システムのワードクロックを確実に同期していただき、かつSERIES 208i にはクロックマスター機器から供給されるワードクロックを入力してください。
- クロックソースを切り換えたあとは、正常に再生/録音が続行できない場合がありますので、ご利用の再生/録音ソフトウェアを再起動してください。

### ③ Rate 項目

接続するOPTICAL (S/MUX) のSample Rateを設定します。接続する機器がTASCAM製品である場合は、「Auto - TASCAM Device」を選択することで自動設定します。

選択肢 : Auto - TASCAM Device、Manual - 44.1kHz/48kHz、Manual - 88.2kHz/96kHz、Manual - 176.4kHz/192kHz

### ④ Buffer Size 項目 (Windowsのみ)

本機のWindows 専用ドライバーは、パソコンとやりとりするオーディオ信号を一時的にバッファに蓄えています。このバッファサイズは、調節が可能です。

バッファサイズが小さいほど、オーディオ信号の遅れが少なくなりますが、パソコンの高速処理が要求されます。

他のシステム操作を行った場合などに処理が間に合わないと、オーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなどが発生する場合があります。

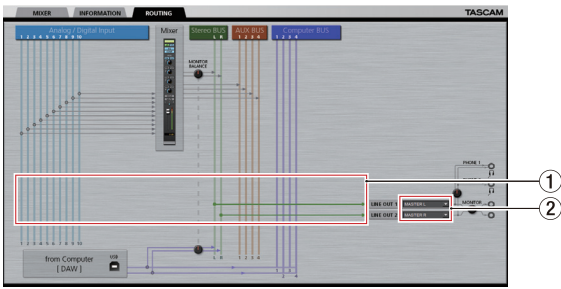
バッファサイズを大きくするほど動作がより安定し、オーディオ信号への悪影響に対して強くなりますが、パソコンとやりとりするオーディオ信号の遅れが大きくなります。

本機ではユーザー環境に合わせて、パネル上のスライダーでバッファサイズを調節することができます。

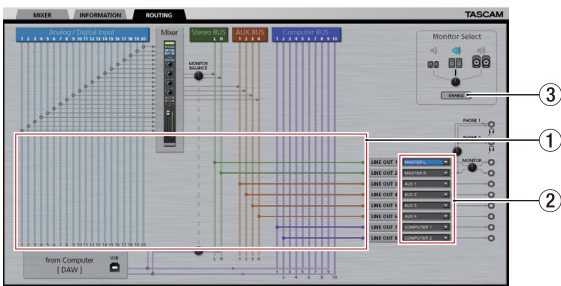
スライダーは、左から右に固定サイズで設定可能です。

選択肢 : 4 Samples、8 Samples、16 Samples、24 Samples、32 Samples、64 Samples、128 Samples、256 Samples、512 Samples、1024 Samples、2048 Samples

## ROUTING 画面



[ SERIES 102i : Settings Panel ・ ROUTING 画面 ]



[ SERIES 208i : Settings Panel ・ ROUTING 画面 ]

### ① 接続状態表示部

出力信号選択表示部(②)で選択された信号と出力端子との間の接続状態を表示します

### ② 出力信号選択表示部

出力信号選択表示部をクリックすると選択肢がプルダウン表示されますので、出力したい信号を選択します。

#### SERIES 102iの場合

選択肢	表示内容
INPUT 1	Analog / Digital Input 1~2 として信号を出力します。
INPUT 2	
OPTICAL 1	Analog / Digital Input 3~10 として信号を出力します。
OPTICAL 2	
OPTICAL 3	
OPTICAL 4	
OPTICAL 5	
OPTICAL 6	
OPTICAL 7	
OPTICAL 8	
MASTER L	Stereo BUS L / R からの信号を出力します。
MASTER R	
AUX 1	AUX BUS 1 ~ 4 からの信号を出力します。
AUX 2	
AUX 3	
AUX 4	
COMPUTER 1	Computer BUS 1~4 からの信号を出力します。
COMPUTER 2	
COMPUTER 3	
COMPUTER 4	

#### SERIES 208iの場合

選択肢	表示内容
INPUT 1	Analog / Digital Input 1~4 として信号を出力します。
INPUT 2	
INPUT 3	
INPUT 4	
OPTICAL A1	Analog / Digital Input 5~12 として信号を出力します。
OPTICAL A2	
OPTICAL A3	
OPTICAL A4	
OPTICAL A5	
OPTICAL A6	
OPTICAL A7	
OPTICAL A8	
OPTICAL B1	Analog / Digital Input 13~20 として信号を出力します。
OPTICAL B2	
OPTICAL B3	
OPTICAL B4	
OPTICAL B5	
OPTICAL B6	
OPTICAL B7	
OPTICAL B8	
MASTER L	Stereo BUS L / R からの信号を出力します。
MASTER R	
AUX 1	AUX BUS 1 ~ 4 からの信号を出力します。
AUX 2	
AUX 3	
AUX 4	
COMPUTER 1	Computer BUS 1~10 からの信号を出力します。
COMPUTER 2	
COMPUTER 3	
COMPUTER 4	
COMPUTER 5	
COMPUTER 6	
COMPUTER 7	
COMPUTER 8	
COMPUTER 9	
COMPUTER 10	

### ③ Monitor Select ENABLEボタン(SERIES 208iのみ)

モニター出力を設定する Monitor Control 画面をサブウィンドウとして表示します。

#### メモ

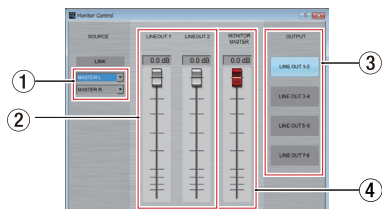
ENABLE ボタン上部のイラストは動作イメージです。Monitor Select つまみは動作しません。

## 第5章 Settings Panelの設定

### Monitor Control 画面 (SERIES 208i のみ)

MasterやAUXのバス出力を8アナログ出力にアサインし、Small / Medium / Large系統別モニタースピーカーの選択やレベル調整などを、出力チャンネル先ごとに設定することができます。なお、設定した出力チャンネルおよび出力レベルについては、Monitor Control 画面を表示中のみ有効で、元の画面へ戻るとこでの設定は無効になります。

Monitor Control 画面を閉じると、出力設定は ROUTING 画面の設定に切り換わります。



#### ① 入力ソース選択表示部

入力ソース選択表示部をクリックすると選択肢がプルダウン表示されますので、入力ソースを選択します。

#### ② モニター出力チャンネル表示部

各出力チャンネルのフェーダーノブをドラッグした状態で上下に動かし、モニター出力信号のレベルを調節します。調節した値が、フェーダーノブの上部に表示されます。モニター出力先選択表示部 (③) で選択した出力チャンネル名が表示されます。

設定値：-inf. ~ 0.0dB (初期値：0.0dB)

#### ③ モニター出力先選択表示部

出力先チャンネルを選択します。選択した出力チャンネル名がモニター出力チャンネル表示部 (②) の上部に表示されます。

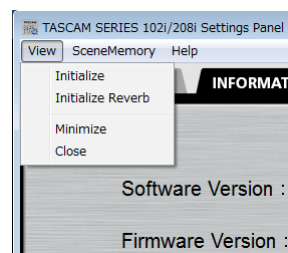
#### ④ MONITOR MASTERチャンネル表示部

MONITOR MASTER チャンネルのフェーダーノブをドラッグした状態で上下に動かし、モニター出力信号のレベルを調節します。調節した値が、フェーダーノブの上部に表示されます。

設定値：-inf. ~ 0.0dB (初期値：0.0dB)

### Settings PanelのViewメニューの操作

Settings Panelの設定またはリバーブの設定の初期化、および Settings Panelをタスクバーに入れるには、メニューバーにある View メニューから操作を行います。



[ Windows 版 ]



[ Mac 版 ]

#### Initialize

Settings Panel内の全ての設定項目を初期化します。詳細は、23ページ「Settings Panelの設定の初期化」をご参照ください。

#### Initialize Reverb

MIXER 画面の REVERB 表示部内の設定を初期化します。詳細は、23ページ「リバーブ設定の初期化」をご参照ください。

#### Minimize

Settings PanelをWindowsのタスクバー、またはMacのドックに入れて、最小化します。

#### Close

Settings Panelを閉じて、終了します。

## Settings Panelの設定の初期化

Settings Panel内の全ての設定項目を初期化します。

### 注意

入力信号のレベルによっては、意図せず突然大きな音がでる場合があります。この設定の初期化を行う際は、楽器や再生機からの音声信号を入れない状態で行うことをお勧めします。

### メモ

INFORMATION 画面の各項目は、初期化されません。

1. メニューバーの **View** メニューから **Initialize** 項目をクリックします。  
以下の確認メッセージが表示されます。



[ Windows 版 ]

2. メッセージ内の「OK」ボタンをクリックして、Settings Panelの設定を初期値に戻します。  
初期化される項目は、次の通りです。

#### MIXER 画面の以下の項目

- EQUALIZER 表示部の設定項目：全て初期値
- COMPRESSOR 表示部の設定項目：全て初期値
- REVERB 表示部の設定項目：全て初期値
- φ (フェーズ) ボタン (全チャンネル)：オフ
- THRU ボタン (全チャンネル)：オフ
- EQ ボタン (全チャンネル)：オフ
- COMP ボタン (全チャンネル)：オフ
- PRE / POST ボタン：オフ
- AUX 1 ~ AUX 4 つまみ (全チャンネル)：-inf.
- SOLO ボタン (全チャンネル)：オフ
- MUTE ボタン (全チャンネル)：オフ
- パンスライダー (全チャンネル)：C センター
- チャンネルフェーダー (全チャンネル)：0.0dB
- LINK ボタン (全ペアチャンネル)：オフ
- REVERB ボタン：オン
- REVERB RETURN つまみ：-inf.
- AUX MASTER 1/REVERB つまみ：0dB
- AUX MASTER 2-4 つまみ：0dB
- STEREO MASTER フェーダー：-infinity

#### ROUTING 画面の以下の項目

- LINE OUT 1：MASTER L
- LINE OUT 2：MASTER R
- LINE OUT 3：AUX 1 (SERIES 208iのみ)
- LINE OUT 4：AUX 2 (SERIES 208iのみ)
- LINE OUT 5：AUX 3 (SERIES 208iのみ)
- LINE OUT 6：AUX 4 (SERIES 208iのみ)
- LINE OUT 7：COMPUTER 1 (SERIES 208iのみ)
- LINE OUT 8：COMPUTER 2 (SERIES 208iのみ)

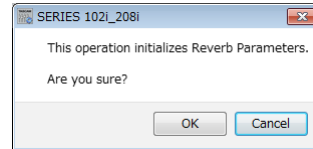
## リバーブ設定の初期化

MIXER 画面の REVERB 表示部内の設定を初期化します。

### 注意

初期化を行うと、以前の設定に戻すことはできません。

1. メニューバーの **View** メニューから **Initialize Reverb** 項目をクリックします。  
以下の確認メッセージが表示されます。



[ Windows 版 ]

2. メッセージ内の「OK」ボタンをクリックして、リバーブの設定を初期値に戻します。  
初期化される項目と初期値は、以下の通りです。

リバーブタイプ	リバーブつまみ		
	PRE DEALY	REVERB TIME	DIFFUSION
HALL	90ms	2.7s	20
ROOM	25ms	1.4s	60
LIVE	6ms	2.6s	50
STUDIO	60ms	0.4s	70
PLATE	42ms	2.7s	50

また、リバーブタイプがHALL (初期値)に戻ります。

### メモ

「Cancel」ボタンをクリックすると初期化せずに、もとの画面に戻ります。

## 第5章 Settings Panelの設定

### Settings Panelの設定の保存

現在のSettings Panelの設定内容をシーンメモリに保存、またはシーンメモリを初期化するには、メニューバーにある**SceneMemory** メニューから操作を行います。

#### SceneMemory 1 - 10項目

現在のSettings Panelの設定内容を、シーンメモリに保存します。シーンメモリは、あらかじめ10個用意してあります。

#### Initialize Memory項目

シーンメモリ 10個全てを一括して初期化することができます。詳細は、26ページ「全てのシーンメモリを初期化する」をご参照ください。

#### Save into the unit項目

現在のSettings Panelの各設定を、本体に保存します。本体に保存したSettings Panelの各設定で、パソコンと本機をUSB接続しなくても（スタンドアローンでも）動作させることができます。詳細は、26ページ「Settings Panelの設定を本体に保存する」をご参照ください。

#### メモ

INFORMATION 画面の **Buffer Size** 項目は、保存されません。

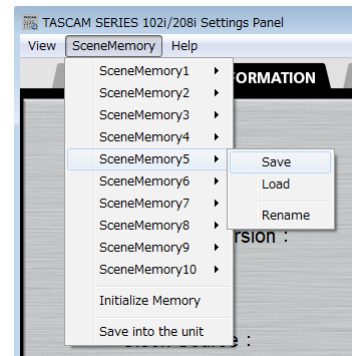
### Settings Panelの設定の保存

現在のSettings Panelの設定内容を、シーンメモリに保存します。

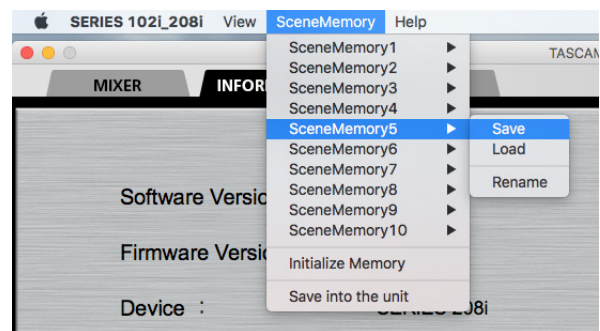
#### 注意

それぞれのシーンメモリには、Settings Panelの設定内容を1つしか保存できません。そのため保存動作を行うと、以前の設定は消去されます。

1. メニューバーの **SceneMemory** メニューから保存したいシーンメモリ名表示をクリックし、サブメニューを表示します。
2. サブメニューから「**Save**」を選択しクリックすると、現在のSettings Panelの設定内容が指定したシーンメモリに保存されます。



[ Windows 版 ]



[ Mac 版 ]

#### メモ

MIXER 画面のセレクトボタンの状態は、保存されません。



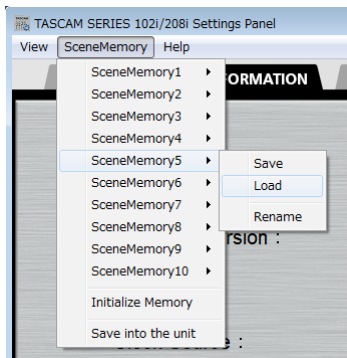
## Settings Panelの設定を呼び出す

シーンメモリに保存してあるSettings Panelの設定内容を呼び出し、Settings Panelの設定を変更します。

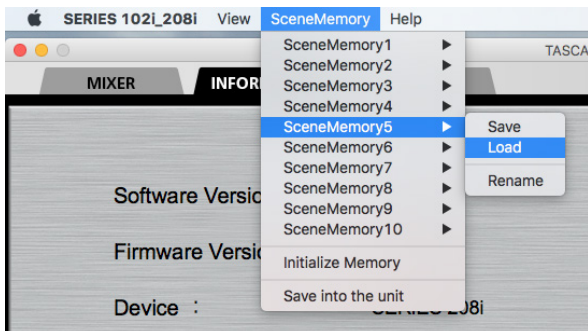
### 注意

保存されているシーンメモリの設定内容によっては、突然大きな音が出る場合があります。各設定を呼び出す際は、楽器や再生機からの音声信号を入れない状態で行うことをお勧めします。

1. メニューバーの **SceneMemory** メニューから呼び出すシーンメモリ名表示をクリックし、サブメニューを表示します。
2. サブメニューから「Load」を選択しクリックすると、現在のSettings Panelの設定が指定したシーンメモリの設定に変更されます。



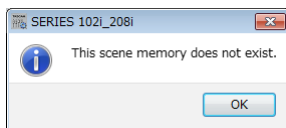
[ Windows 版 ]



[ Mac 版 ]

### 注意

一度も保存操作をしていないシーンメモリには、Settings Panelの設定内容が保存されていません。呼び出し操作を行うと、下記のメッセージが表示されます。

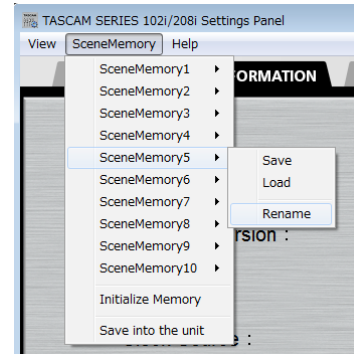


[ Windows 版 ]

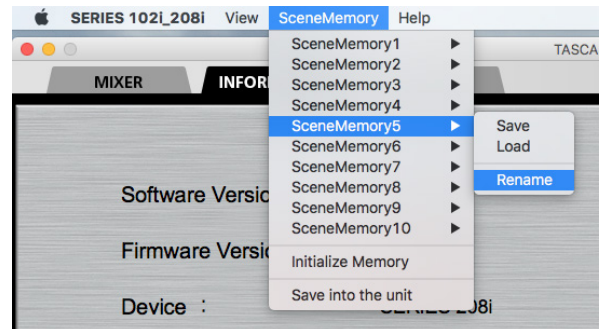
## シーンメモリ名を変更する

シーンメモリの名前を変更することができます。

1. メニューバーの **SceneMemory** メニューから名前を変更したいシーンメモリ名表示をクリックし、サブメニューを表示します。
2. サブメニューから「Rename」を選択します。

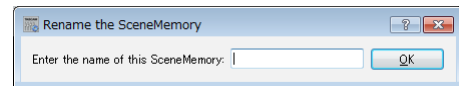


[ Windows 版 ]



[ Mac 版 ]

3. シーンメモリ名を変更する画面が、ポップアップ表示されます。



[ Windows 版 ]

4. 変更するシーンメモリ名を入力し、「OK」ボタンをクリックして変更を確認します。

## 第5章 Settings Panelの設定

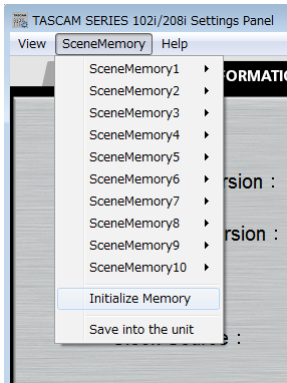
### 全てのシーンメモリーを初期化する

10個のシーンメモリーを、全て初期化することができます。

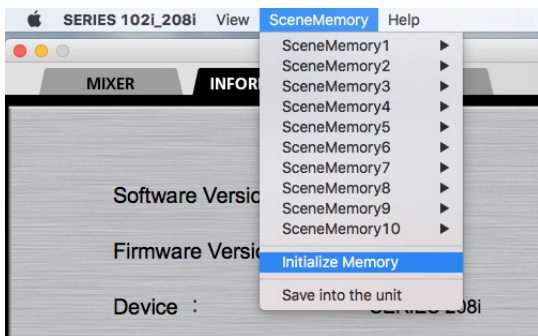
#### 注意

初期化を行うと、以前の設定に戻すことはできません。

1. メニューバーの **SceneMemory** メニューから **Initialize Memory** 項目をクリックします。

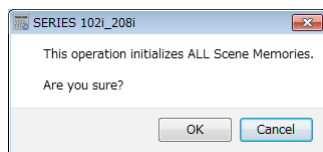


[ Windows 版 ]



[ Mac 版 ]

2. 全てのシーンメモリーを初期化する、以下の確認メッセージが表示されます。



[ Windows 版 ]

3. 画面内の「OK」ボタンをクリックすると、全てのシーンメモリーが初期化されます。

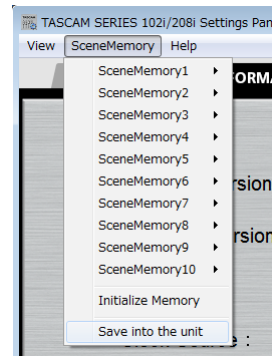
#### メモ

「Cancel」ボタンをクリックすると、10個のシーンメモリーを初期化せずにもとの画面に戻ります。

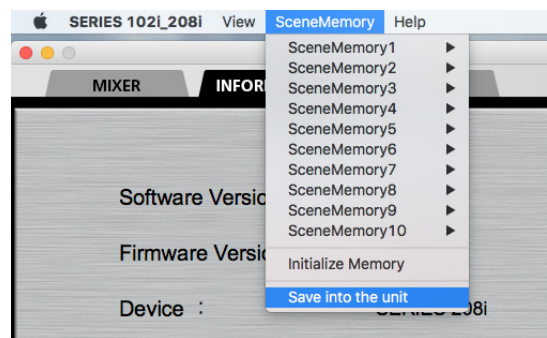
### Settings Panelの設定を本体に保存する

現在のSettings Panelの各設定を、本体に保存します。

1. メニューバーの **SceneMemory** メニューから **Save into the unit** 項目をクリックします。

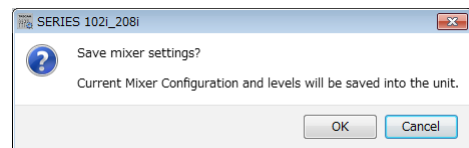


[ Windows 版 ]



[ Mac 版 ]

2. 現在のSettings Panelの各設定を本体に保存する、以下の確認メッセージが表示されます。



[ Windows 版 ]

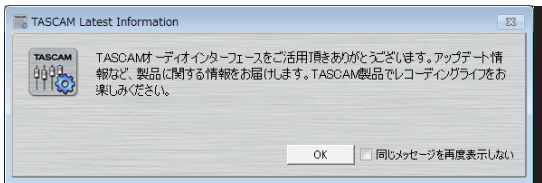
3. 画面内の「OK」ボタンをクリックすると、現在のSettings Panelの各設定が本体のメモリーに保存されます。

#### メモ

INFORMATION 画面の **Buffer Size** 項目は、保存されません。

### 最新情報のお知らせ機能

お使いのパソコンがインターネットに接続されていると、Settings Panel起動時にお知らせが表示されることがあります。



#### メモ

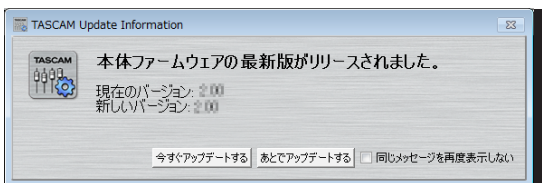
「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェックすることで、次回から起動時に同じメッセージを表示しないようになります。

### ソフトウェア・ファームウェアの自動更新機能

新しいバージョンのソフトウェアおよびファームウェアがリリースされた場合、お使いのパソコンがインターネットに接続されていると、ソフトウェア起動時に自動更新案内が表示されます。



[ソフトウェアの更新の場合]



[ファームウェアの更新の場合]

最新のソフトウェア／ファームウェアをご使用になる場合、「今すぐアップデートする」ボタンをクリックしてください。ファイルが自動的にダウンロードされ、更新ソフトが起動します。更新したくない場合、あとで更新したい場合は、「あとでアップデートする」ボタンをクリックして更新ウィンドウを閉じてください。

#### メモ

- 「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェック(✓)することで、次回から起動時に同じウィンドウを表示しないようになります。
- 更新ウィンドウを閉じたあとでも、メニューバーの「Help」→「Update」を選択することで再び更新ウィンドウを表示させることができます。

# 第6章 アプリケーションガイド

ここでは、いくつかのオーディオアプリケーションと組み合わせて使用する場合の各設定方法を紹介します。

## DAWソフトウェア

### バンドルDAWソフトウェア

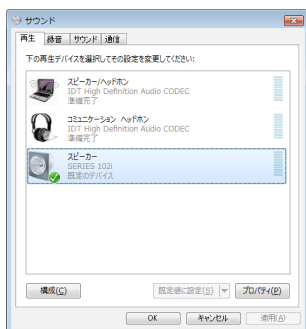
バンドルしているDAWソフトウェアのダウンロードやインストール、および各種の設定方法に関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、それぞれのクイックスタートガイドをダウンロードして、ご覧ください。

### その他のDAWソフトウェア

その他のDAWソフトウェアをご使用の場合は、お手持ちのDAWソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

## Windows Media Player

1. ご使用のOS (Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7) に適した設定方法で「サウンド」画面を開きます。
2. 「再生」タブ画面の「スピーカー SERIES 102i」または「スピーカー SERIES 208i」を右クリックし、表示されたポップアップメニュー内の「既定のデバイスとして設定」をクリックします。このとき、緑のチェックマーク (✓) が選択したデバイスに移動します。



[ Windows 7 の場合の画面 ]

### メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、「再生」タブ画面と同様に「録音」タブ画面もご使用になるASIOデバイスに応じて既定のデバイスを設定してください。

3. 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。
4. Windows Media Player を起動し、オーディオファイルの再生を行ってください。

### メモ

- Windows Media Player を起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player 側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、Windows Media Player を再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行っても音が出ない場合は、STANDBY スイッチをオフしてパソコンを再起動してください。
- この設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子からは音が出なくなります。

## macOS と iTunes

1. 「アプリケーション」フォルダー内の「ユーティリティ」フォルダー内にある「Audio MIDI 設定」をダブルクリックし、「オーディオ装置」画面を開きます。
2. 「SERIES 102i」または「SERIES 208i」をクリックして選択し、右クリックまたはcontrolキーを押しながら「SERIES 102i」または「SERIES 208i」をクリックして表示されるポップアップメニュー内の「このサウンド出力装置を使用」をクリックします。スピーカーのマークが「SERIES 102i」または「SERIES 208i」に移動します。

### メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、「SERIES 102i」または「SERIES 208i」を「このサウンド入力装置を使用」に設定します。

3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

### メモ

YouTubeやiTunesなどのアプリが再生中は、サンプリング周波数を変更しないでください。

## iOS

iOSデバイスは、特に設定をする必要はありません。USB接続を接続したあとは、すぐに使用できます。

### メモ

iOSデバイスのヘッドホン端子にヘッドホンなどを接続した場合は、本機とのUSB通信が切断されます。

---

## 概要

---

- 本機の電源が入っていて、USBケーブルがパソコンとつながっていないとき、本機はスタンドアローンモードと呼ばれるモードで動作します。
- 本機をマイク用プリアンプとして動作させ、入力音をモニタリングすることが可能です。録音をせずに、楽器の練習をするときなどに便利な機能です。

---

## スタンドアローンモード動作時の各設定

---

スタンドアローンモード動作時は、入力信号が固定値に設定された内蔵デジタルミキサーおよび出力セクターを通して、出力端子に出力されます。また、スタンドアローンモード動作時は、**USB**インジケータが消灯状態になります。

---

## 各種設定

電源再起動後の内蔵デジタルミキサーやルーティングなど各種設定は、パソコンと接続時に実行した **Save into the unit** の状態となります。

# 第8章 MIDIインプリメンテーションチャート

MIDIインプリメンテーションチャート

機能		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	電源オン時	×	×	スルー
	設定可能	×	×	
モード	電源オン時	×	×	スルー
	メッセージ	×	×	
	代用	.....		
ノート・ナンバー	音域	×	×	スルー
ベロシティ	ノート・オン	×	×	スルー
	ノート・オフ	×	×	
アフター・タッチ	キー別	×	×	スルー
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベント		×	×	スルー
コントロール・チェンジ		×	×	スルー
プログラム・チェンジ		×	×	スルー
	設定可能範囲 #	.....		
システム・エクスクルーシブ		×	×	スルー
システム・コモン	ソング・ポジション	×	×	スルー
	ソング・セレクト	×	×	
	チューン	×	×	
システム・リアルタイム	クロック	×	×	スルー
	コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン/オフ	×	×	スルー
	オール・ノート・オフ	×	×	
	アクティブ・センス	×	×	
	リセット	×	×	
備考				

モード1：オムニ・オン、ポリ モード2：オムニ・オン、モノ  
 モード3：オムニ・オフ、ポリ モード4：オムニ・オフ、モノ

○：YES  
 ×：NO

本取扱説明書の手順通り設定しても、本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。

本章で解決できない場合は、タスクカスタマーサポート（巻末に記載）まで、下記のご使用環境と詳しい状況をお知らせいただきますようお願い致します。

## ご使用環境

- パソコンメーカー：
- モデル：
- CPU：
- 搭載メモリー：
- OS：
- 使用アプリケーション：
- ウイルス対策ソフト：
- 無線LANの有無：

お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

## 専用ソフトウェアをインストールできない。

### 1. OSの確認

お使いのOSとインストールしようとしているソフトウェアの対応OSが異なっている可能性があります。

インストールしようとしているソフトウェアの対応OSを、今一度ご確認ください。

### 2. 常駐ソフトの停止

アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがインストールの妨げとなる場合があります。常駐ソフトを終了し、再度インストールをお試しください。

## 本機を接続したがパソコンに認識されない。

### 1. 専用ソフトウェアのインストール

- 専用ソフトウェアをインストールしてください。7ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご参照ください。

### 2. USBポートの差し替え

- 本機は、USB1.1では動作しません。USB2.0またはUSB3.0以上のポートをご使用ください。
- 本機の接続は、USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。
- 上記の方法で解決しない場合、パソコン本体の別のUSBポートに接続してください。

## パソコンで再生しても音が出ない

本機の**MONITOR BALANCE**つまみが、左側（**INPUT**）最大に回っていないかを確認してください。

その場合、**MONITOR BALANCE**つまみを中央より右側に回してください。

また、本機をパソコンに接続した状態で下記をご確認ください。

なお、以下の設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から音は出なくなります。

## Windows の場合

本書 28 ページの「第6章 アプリケーションガイド」の「Windows Media Player」を参照して、各OSに合わせた再生時の既定デバイスに設定してください。

## Mac の場合

1. 全てのアプリケーションを終了し、アップルメニューより「システム環境設定...」画面を開きます。
2. 「サウンド」を開きます。
3. 「出力」タブから「SERIES 102i」または「SERIES 208i」を選択します。

設定が完了しましたらパソコンを再起動し、再生音をご確認ください。また、お使いのアプリケーションによっては、上記とは別にデバイス設定を行う必要がある場合があります。

特にDAWソフトウェアをご使用時には、上記OSの設定とは別のオーディオエンジンで動作していますので、本機のドライバーおよびSettings Panelソフトウェアをインストール後、先にDAWソフトウェアの設定をご確認ください。

お使いのアプリケーションの詳しい設定方法については、各取扱説明書をご参照ください。

## モニタリング時に入力音の遅延が大きい

ダイレクトモニター機能をご使用ください。

詳しくは、4ページ「フロントパネル」の「⑥ MONITOR BALANCEつまみ」をご参照ください。

## 入力音が二重に聞こえる

DAWなどの録音ソフトウェアがその入力を出力（モニターオンなど）に設定していないことを確認してください。

入力端子からの入力信号が、ダイレクトモニターだけでなくパソコンからの出力信号としてモニターされることにより二重に聞こえることがあります。

## 第9章 トラブルシューティング

### 音切れやノイズが発生する

パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生します。パソコンの負荷を軽減させる方法を、下記にご紹介致します。

1. 無線LAN やアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバックグラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。その場合は無線LANの通信を停止する、またはアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止後して、お試しください。
2. お使いのオーディオアプリケーション、あるいは本機の Settings Panel にてバッファサイズ (レイテンシー) の設定を大きくすることをお試しください。(Windows のみ)

#### メモ

オーディオアプリケーション側でパソコンへの負荷を減らす方法については、オーディオアプリケーションのメーカー様にお問い合わせください。

3. パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

#### [ Windows の場合 ]

##### ● パフォーマンスオプション

- ① ご使用のOS (Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7) に適した設定方法で「システム」を開きます。
  - Windows 10 は、「コントロールパネル」を開きます。さらに「システム」アイコンをクリックします。
  - Windows 8.1 は、通常のスタート画面 (メトロUI画面) で右クリックし、「すべてのアプリ」をクリックします。さらに「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
  - Windows 7 は、Windows のスタートボタンから「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- ② 「システムの詳細設定」をクリックします。
- ③ 「システムのプロパティ」画面の「詳細設定」タブで、「パフォーマンス」枠の「設定...」をクリックします。
- ④ 「パフォーマンスオプション」画面の「視覚効果」タブで、「パフォーマンスを優先する」を選択します。

##### ● 電源オプション

- ① ご使用のOS (Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7) に適した設定方法で「コントロールパネル」を開きます。
- ② 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
- ③ 「電源オプション」をクリックします。
- ④ 「電源プランの選択」で「高パフォーマンス」を選択します。

#### メモ

項目が表示されていない場合は、「追加のプランを表示」の下向きの三角ボタンを選択して表示します。もしくは、「電源プランの作成」をクリックしてください。

#### [ Mac の場合 ]

- ① アップルメニューより「システム環境設定...」画面を開き、「省エネルギー」を選択します。
- ② 「コンピュータのスリープ」を「しない」に設定します。
- ③ 「ディスプレイのスリープ」を「しない」に設定します。

#### メモ

macOSのバージョン、または Mac によっては、この設定がない場合があります。

### 4. USBポートの差し替え

USBポートによっては本機が正常に動作しない場合がありますので、パソコン本体の別のUSBポートに接続してください。

#### メモ

- その他のUSB機器は、接続せずにお試しください(USBキーボード・USBマウスは、接続しても構いません)。
- USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の (オンボードの) USBポートに接続してください。

### USBオーディオインターフェースを使用していたら、動作が不安定になる時があります。

Windowsを使用している場合において、電源管理設定により動作が不安定になる場合がございます。その場合は、以下をお試しください。

1. ご使用のOS (Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7) に適した設定方法で「コントロールパネル」を開きます。
2. 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
3. 「電源オプション」をクリックします。
4. 「電源プランの選択」で「高パフォーマンス」を選択します。

#### メモ

項目が表示されていない場合は、「追加のプランを表示」の下向きの三角ボタンを選択して表示します。もしくは、「電源プランの作成」をクリックしてください。

### Mac でタブキーで操作対象が移動しない

Mac の設定により動作するようになります。

- ① アップルメニューより「システム環境設定...」画面を開き、「キーボード」を選択します。
- ② 「ショートカット」タブを選択し、「Tabキーを押してウィンドウやダイアログ内の操作対象を移動する機能の適用範囲」を「すべてのコントロール」に設定します。

### バンドルDAW ソフトウェアのお問い合わせについて

バンドルDAWソフトウェアにつきましては、弊社ではサポート外となります。

ご使用については、バンドルDAWソフトウェアのヘルプメニューをご参照いただけますようお願い致します。



## 定格

### サンプリング周波数

44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz

### 量子化ビット数

24ビット

## 入出力定格

### アナログオーディオ入力定格

#### マイク入力 (バランス)

SERIES 102i : 1-2

SERIES 208i : 1-2、3-4

(入力切り換えスイッチを「**MIC/LINE**」設定時)

コネクター : XLR-3-31相当

(1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)

入カインピーダンス : 1.5k $\Omega$

規定入力レベル :

-64dBu (0.0005Vrms、**GAIN**つまみ最大)

-6dBu (0.388Vrms、**GAIN**つまみ最小)

最大入力レベル : +10dBu (2.45Vrms)

ゲイン幅 : 58dB

#### インストゥルメント入力 (アンバランス)

SERIES 102i : 1-2

SERIES 208i : 1-2、3-4

(入力切り換えスイッチを「**INST**」設定時)

コネクター : 6.3mm (1/4") TS標準ジャック

(Tip : HOT、Sleeve : GND)

入カインピーダンス : 1M $\Omega$ 以上

規定入力レベル :

-64dBV (0.0006Vrms、**GAIN**つまみ最大)

-6dBV (0.501Vrms、**GAIN**つまみ最小)

最大入力レベル : +10dBV (3.162Vrms)

ゲイン幅 : 58dB

#### ライン入力 (バランス)

SERIES 102i : 1-2

SERIES 208i : 1-2、3-4

(入力切り換えスイッチを「**MIC/LINE**」設定時)

コネクター : 6.3mm (1/4") TRS標準ジャック

(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

入カインピーダンス : 10k $\Omega$

規定入力レベル :

-54dBu (0.0015Vrms、**GAIN**つまみ最大)

+4dBu (1.228Vrms、**GAIN**つまみ最小)

最大入力レベル : +24dBu (12.282Vrms)

ゲイン幅 : 58dB

### アナログオーディオ出力定格

#### モニター出力 (バランス、LINE OUT 1-2)

コネクター : 6.3mm (1/4") TRS標準ジャック

(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

出カインピーダンス : 230 $\Omega$

規定出力レベル : +4dBu (1.228Vrms)

最大出力レベル : +20dBu (7.75Vrms)

#### ライン出力 (バランス、LINE OUT 3-8、SERIES 208iのみ)

コネクター : 6.3mm (1/4") TRS標準ジャック

(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

出カインピーダンス : 230 $\Omega$

規定出力レベル : +4dBu (1.228Vrms)

最大出力レベル : +20dBu (7.75Vrms)

#### ヘッドホン出力 (PHONES $\Omega_1$ / $\Omega_2$ )

コネクター : 6.3mm (1/4") ステレオ標準ジャック

最大出力 :

SERIES 102i : 18mW + 18mW

SERIES 208i : 45mW + 45mW

(THD + N 0.1%以下、32 $\Omega$ 負荷時)

### デジタルオーディオ入力定格

#### OPTICAL (S/MUX) IN (SERIES 208iはA / B搭載)

コネクター : OPTICAL (JEITA RC-5720C)

信号フォーマット : Multi-channel optical format

(88.2k/96k/176.4k/192kHz時はS/MUXに対応)

### コントロール入出力定格

#### USB

コネクター : USB Bタイプ 4ピン

転送速度 : USB 2.0 High Speed (480Mbps)

#### MIDI IN端子

コネクター : Din 5ピン

フォーマット : 標準MIDIフォーマット

#### MIDI OUT端子

コネクター : Din 5ピン

フォーマット : 標準MIDIフォーマット

#### WORD IN端子 (SERIES 208iのみ)

コネクター : BNCコネクター

入力電圧 : 2.0Vpp ~ 5.0Vpp

入カインピーダンス : 75 $\Omega$   $\pm$  10%

外部同期時の許容周波数偏差 :  $\pm$  100ppm

終端あり / なし切り換えスイッチ付き

#### WORD OUT端子 (SERIES 208iのみ)

コネクター : BNCコネクター

出力電圧 : 2.0Vpp (75 $\Omega$ 負荷時)

出カインピーダンス : 75 $\Omega$   $\pm$  10%

サンプリング周波数 : 44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz

## オーディオ特性

### マイクアンプEIN (入力換算雑音)

-129dBu以下

### 周波数特性

#### MIC/LINE IN

44.1k/48kHz時 20Hz - 20kHz: +0dB/-0.4dB (JEITA)

88.2k/96kHz時 20Hz - 40kHz: +0dB/-0.8dB (JEITA)

### S/N比

109dB

(**MIC/LINE IN**, **GAIN**つまみ最小、20kHz SPCL LPF + A-Weight)

110dB

(**LINE OUT**, **MONITOR**つまみ最大、20kHz SPCL LPF + A-Weight)

### 全高調波歪率 (THD+N)

#### SERIES 102i

0.0016%

(**MIC IN**, 1kHzサイン波、**GAIN**つまみ最小、20kHz SPCL LPF)

0.0023%

(**LINE IN**, 1kHzサイン波、**GAIN**つまみ最小、20kHz SPCL LPF)

0.0014%

(**LINE OUT**, 1kHzサイン波、**MONITOR**つまみ最大、20kHz SPCL LPF)

#### SERIES 208i

0.0013%

(**MIC IN**, 1kHzサイン波、**GAIN**つまみ最小、20kHz SPCL LPF)

0.0019%

(**LINE IN**, 1kHzサイン波、**GAIN**つまみ最小、20kHz SPCL LPF)

0.0014%

(**LINE OUT**, 1kHzサイン波、**MONITOR**つまみ最大、20kHz SPCL LPF)

### クロストーク

100dB以上

(**MIC/LINE** → **LINE OUT**, 1kHzサイン波、**GAIN**つまみ最小)

## 動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) で確認ください。

### Windows

#### 対応OS

Windows 10 32ビット

Windows 10 64ビット

Windows 8.1 32ビット

Windows 8.1 64ビット

Windows 7 32ビット SP1以上

Windows 7 64ビット SP1以上

(Windows Vista および Windows XP はサポート外)

#### 対応パソコン

USB2.0ポートまたはUSB3.0以上のポートを装備した Windows 対応パソコン

#### CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz 以上 (x86)

#### メモリー

2GB以上

#### 注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

### Mac

#### 対応OS

macOS Mojave (10.14以降)

macOS High Sierra (10.13以降)

macOS Sierra (10.12以降)

#### 対応パソコン

USB2.0またはUSB3.0に接続可能なMac

#### CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz 以上

#### メモリー

2GB以上

### iOSデバイス

iOS10以降のアップル製iOSデバイス

### 対応オーディオドライバー

#### Windows

USB Audio Class 2.0、ASIO2.2、WDM (MME)、MIDI

#### Mac

Core Audio、Core MIDI

#### iOSデバイス

Core Audio for iPhone

---

## 一般

---

### 電源

専用ACアダプター (PS-P1220E)、DC12V

### 消費電力

SERIES 102i : 7.2W

SERIES 208i : 14W

### 外形寸法

SERIES 102i : 186 x 65 x 160mm (幅x高さx奥行き)

SERIES 208i : 296 x 65 x 160mm (幅x高さx奥行き)

### 質量

SERIES 102i : 1.1kg

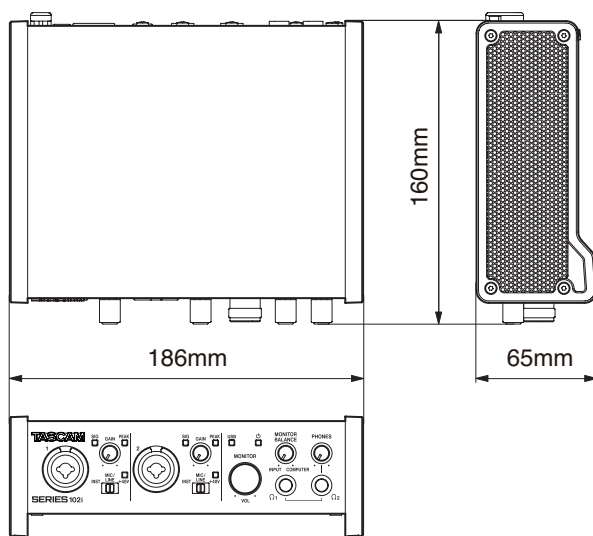
SERIES 208i : 1.6kg

### 動作温度

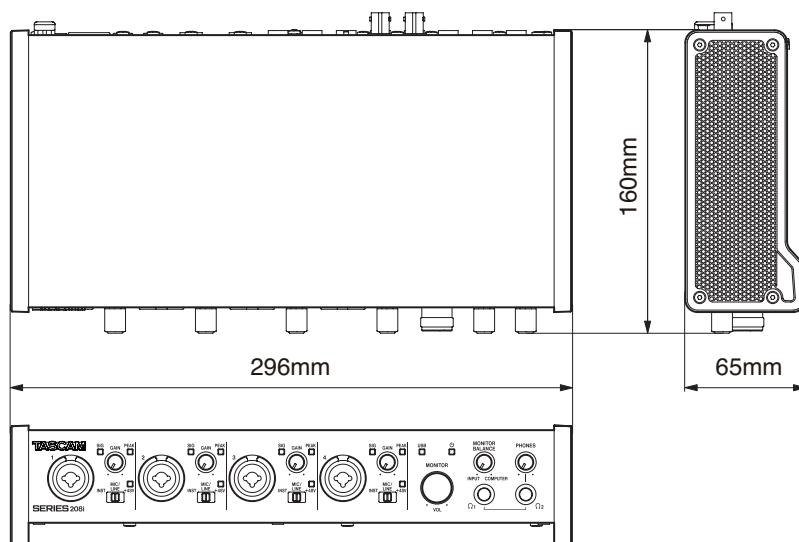
5 ~ 35℃

## 寸法図

### SERIES 102i



### SERIES 208i



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。



## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

### この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスクムカスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



**0570-000-809**

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

### 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



**0570-000-501**

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<https://tascam.jp/jp/>